京城日報

十六日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用三四五番 營業用三二六番 振替貯金口座京城三〇〇番

首相外相の重大問題上奏

大隈首相は石井外相同伴十五日午前八時十五分東京驛發列車にて葉山に赴き御避寒中の　聖上陛下に拜謁仰せ付られ重大なる外交問題につき親しく奏上する所あり次で種々御下問に奉答し終り別殿に於て午餐を給はり午後四時歸京したり右に付き仄聞するところに依れば十四日院内に於て開催したる臨時閣議に於て歐洲大亂に伴ふ帝國の態度並に對支外交に就き一段の進展を圖らんが爲め今後の方針を確定したるを以て其結果を上奏したるもの也と（東京特電）

朝鮮關係報告

十五日貴族院決算二分科會に於ける檢查報告中本府關係一より三の事項は政府の措置穩當を缺ぐものと認め新義州民團土木費補助の件は檢查院の報告を是認する旨の決議をなせり主查會の決定を經て本決議となす由（共新著電）

簡易保險と與黨

同志會にては簡易生命保險法案に對する黨の態度を決すべく十五日支部代議士會を開きたるに鈴木萬次郎氏は絕對原案反對を主張し淺野陽吉氏は修正案として保險金額を二百五十圓に低下し保險加入者に制限を附し地租十圓以上納税者を除外する等の案を提出したるも採決の結果大多數にて原案を可決したり（東京特電）

十六日の衆議院

十六日衆議院に於ては安協案豫備追加案の委員會を開會せり（東京電報）

東拓案通過せん

東拓改正法案は形勢を持ち直し結局兩院を通過すべし（東京電報）

研究所案提出

理科學研究所案議會に提出されたり（東京電報）

曹錕の軍到る

成都發電に曰く曹錕軍五千は十四日官軍援助の爲め自流井附近の要塞山に到着せり（上海特電）

未婚者に兵役服務を命ず

ダービー卿の募兵案及び新規發表の徴兵令に適合する未婚者は今回兵役服務を命ぜられたり（紐育電報）

▲布令を各所に貼る　未婚男子全部兵役に服務せしむる爲めの布令出で各所に貼り出されたり（倫敦電報）

米國渦中に投ぜん

華盛頓來電に據れば、米國々務卿は潛水艇問題に關し獨逸よりの覺書本文を落手せり紐育の諸新聞は國務卿ランシング氏が商船武裝解除提案の件は今回の覺書を見るに至り之れが爲め大統領ウィルソン氏は解決し難き爭論の渦中に投ずるに至らんと豫期し居れり（倫敦電報）

土波兩國の都會を占領す

露軍は土耳其の都會エップ及波斯の都會ドウレタバッドを占領せり（倫敦電報）

佛艦擊沈

巴里來電に據れば佛國巡洋艦シアルネル號は二月八日シリアの沖にて潛航艇に擊沈せられたる旨公報にて發表さる（紐育電報）

日露漁業問題解決

日露漁業問題交渉の一部は我國の有利に解決せり（東京電報）

林大使支那公使か

駐伊大使林權助男は新に支那駐在公使に任命せらるべしとも傳へらる（東京電報）

嚴柱益氏歸京

嚴柱益氏十六日内地より釜山着午前十時三十分發列車にて京城へ歸る（釜山特電）

恩赦御裁可濟

這般の恩赦令に依り鮮内各地の法院並に監獄より申告し來れる被恩典者數は合計百八十八名なりしが其後司法部に於て審議の結果四十名を除き百四十八名に對して恩赦の上奏を爲せしに其中十七名は此程御裁可濟となりたりと

總督茶菓饗應

寺内總督は十六日午後三時半より學務主任會同の爲め入京中なる各道學務主任を官邸に招き茶菓の饗應を爲せしが關係各部長官局長課長等亦臨陪したり

學務主任會同（第三日）

各道學務主任會同第三日は十六日午前九時半より總督府第一會議室に開催、寺内總督以下出席者前日の如く宇佐美長官總裁の下に日程に入り注意事項を了へて午後三時散會したり、明日は打ち合せ事項ありて十七日より十九日までは京城市内各學校を視察の筈なり

露國大使の交迭

北京電報に據れば北京駐在露國公使クルペンスキー氏は今回大使に昇任し日本駐在を命ぜられたりと

八博士の茶話會

私立培材高等普通學校設立者美以敎會監督ハリス博士は十五日午後四時半より朝鮮ホテルに於て宇佐美內務部長官、關屋學務局長、金谷府尹、弓削學務課長其の他有賀第一部長、各官公私立學校長約三十餘名を招待し私立培材學堂組織變更認可に關する自祝を兼ね敎育上の懇親會を催したり主客席定まり歡談中ハリス博士は起て一場の挨拶をなしたるに對し宇佐美長官は『本府が昨年私立學校令の改正を發布し施行期より向ふ十年間の猶豫を與へて新令の普及を行はんとしたる培材學校の設立者たるハリス博士は早くも今日組織を變更し直ちに改正規則に由つて敎育を行はんとするは寔に時宜に適したる措置にして之れ全く博士が數十年來日本に在住して日本政府の政策を熟知せるに由るものなり新校長申興雨氏も亦博學有爲の士なれば學校の前途は大に期待すべきものあるべし』と祝辭を述べ次で關屋、有賀、齋藤諸氏の祝詞あり最後に申校長、ハリス博士の謝辭あり六時頃散會せり

平壤排水施設

平壤府にて施設繼續中なる排水工事は大正五年度を以て其の第一期計畫を終了する事となり居れるが同年度の主要事業は經費六萬七千圓中約四萬圓を投じ陸路門排水口に用水救濟用の喞筒掛設備をなす豫定なりしも時局の影響により喞筒の時價多少値上げされしと該喞筒場の設備は第二期計畫中に繰延べ其の費用を以て第二期に施設せんとする新市街の一部に排水工事を加ふるもさしたる支障なく却つて時宜に適したるものなりとの意見府當局の間に決定し乃ち豫定計畫を變更する事となり昨今新市街施設地の研究調査中なるが技術上の關係より平壤慈惠醫院近傍幸町附近に施工する事となるべく新市街西南部の不潔地水溜り等は面目を一新する事とならん（平壤）

鴨江氷採取盛ん

本年は未曾有の暖氣にて京仁其他南鮮各地にては河川の結氷稀なる爲め醫療用及び食料品冷藏用としての氷塊採集困難なるを以て過般來新義州當業者へ鴨綠江氷塊の採取方を註文し來るもの頗る多く有樣なるが今日迄の同地滿鮮運送會社の引受けたる注文高は京城二百噸、龍山二百噸、仁川四百噸、木浦二百噸、水原百噸、合計一千百噸の多量に上り同社にては目下日々汽車便にて發送し居れり（安東）

江原苗圃協議會

江原道廳にては二十一日より二十三日まで林業苗圃主任協議會を開催に決せり總督府よりは掛場技手出席の筈なり

三國商會主歸京

當地に支店を有する三國商會主桑三郎氏は昨年南洋に於ける護謨栽培視察を遂げ次いで滿鮮に來り京城には昨年末來滯在中の處十六日朝南大門驛發列車にて歸東せるが驛には多數の見送りありたり

安東縣

▲商議々員改選　安東商業會議所議員選擧は十四日午前十時より民團役所樓上に於て執行されたるが當選者左の如し

中野初太郎、高橋貞二（正金銀行出張所）、安東銀行（朝鮮銀行出張所）、久間喜助、安東堅果株式會社、三井物産出張所、松田陶吉、平尾熊次、安東貯金銀行、藤田榮次郎、近藤松五郎、渡邊米吉、杵淵孫藏、寺田萬次郎、岡村良山口交治郎、福島熊一

右に付き會議所は來る十九日午後三時より民團樓上に於て總會を開き會頭以下役員の選擧を執行す可し

▲新年號使用命令　東邊道尹は今回奉天巡按使よりの訓令に基き洪憲元年の年號を使用す可き旨管内一般に示達したり

安東線列車中より　勝村生

十二日午前十時四十分安東縣を發して奉天に向ひ候途中の景色は又格別に御座候溫泉五龍背の前面に聳立する奇峰丁簑山は其の露出せる山骨悉く雪に塗られ謠に見たる北極の大氷山にも異らざる趣に御座候、鳳凰山麓よりも白く一種の奇觀に御座候、此の邊一帶に續く楊樹林は其の枝梢寄り此の邊の各驛は共に誠に寒村避邑にして五六戸宛の滿鐵社宅の外は支那人の家すらも稀なる有樣に御座候、我滿洲獨立守備隊の鐵道守備兵は長さ二尺四五寸の十手を提へ一列車四五人宛各驛に於て逓次交換連絡いたし絕えず列車内を巡廻いたし候各驛及び其の中間の鐵路電線守備兵、憲兵、警務署巡査等何れも沿線滿鐵社員家族旅客等の心を強うするものに御座候

馬賊の巢窟を以て有名なる通遠堡、祁家堡等を打過ぎ、所謂滿洲耶馬溪の風景を車窓に賞ふ橋頭に於ては二十七八年戰役の際に於いて騎兵旅團を提げて鎮の大軍を本溪湖方面に壓迫したる閑院宮殿下の御勇戰の跡を偲び奉り全山鐵黑色を呈せる本溪湖の鐵鑛場等を眺め、夕刻奉天驛に到著仕候（十二日午後）

平壤

▲記念事業委員　平壤府大典記念事業たる公會堂の建設に付本田委員長は十六日松永、土井、向井、伊藤（少將）を顧問に其他有數十名の日鮮人有志に常任委員及び委員の囑託をなしたり近々其筋の認許を得て寄附金募集に著手すべし

▲牡丹臺附近施設　平壤名勝箕窟保存會へ千五百圓の寄附ありしが三菱は兼二浦製鐵所の名により金五百圓又大倉組は三百圓を各同會に寄附し來れりよつて府廳内の保存會は之等の費用により本年も亦牡丹臺一帶の植樹道路の整備建設物保存等の各種手入れを行ふべしと

▲モヒ患者絕滅　昨秋平壤府にて稻田署長等中心となりモルヒネ患者五十四名を收容の上診察を加へ頗る好成績に全癒せしめしが爾來彼等は驛の貨物人夫チゲ車夫等となり爲め昨年殊に冬季に於て市中の各所に散見せしモヒ患者の乞食も本年は殆んど跡を絕ち鮮人有志及び商家の如きは厄介者の蝟集し來らざる事を大に喜びつゝありと

▲組合豫算提出　平安南道各學校組合は成規により大正五年度の歳計豫算案を昨今何れも内覽を乞ふ爲め道廳に提出し來れる爲め地方係長尾書記等は其の審査に忙殺されつゝあり

▲平壤と魚類　平壤魚市場一月中の入荷は七百七十八個八千二百圓にして前月に比し二百四十二個の減少を告げ鮮海の不漁を示せり而して減少中の主要地は元山の百〇九個統營の七十一個にして内地は反つて四十一個を増し入荷數八十一個に達し尚ほ各魚類中金額數量共に多額なるは鯛にして鯖ブリ等之に次ぐ

▲平壤署消防詰所　平壤警察署にては其の構内に常備消防詰所を建設中なるが今春中に竣工すべしと

仁川

▲商議評議員會　仁川商業會議所に於ける評議員會は二月十五日午後七時より開會せり缺席者十名にして奥田議長より委員會決議事項に就き詳細に涉り說明あり賦課徵收方法に就き議論百出し修正案に反對し原案賛成說を唱ふる向もありしが評議の末多數決を以て修正案に依ることに決す次に第二號議案議事細則は第一回委員會の修正通り第三號議案第四號議案取扱銀行指定は日本人銀行第一銀行支店に決定し午後十一時散會せるが傍聽者多數ありて盛會なりし

▲鮮人墓地新設　仁川鮮人共同墓地は元府内面廳所より引繼ぎたる不適當の一箇所なりしが同墓地は土質險惡なるのみならず目下殆んど使用すべき餘地なきを以て今回富川郡文鶴面承基里所在面積三萬二千八百十坪を選定し墓地新設認可を府廳より警務部に申請すべく目下手續中

大邱

▲未檢米移出防止　慶北產出米穀は從來必ず規定の檢查を了せし上各方面に移出しつゝあることは一般の周知する所なるが往々不德義なる未檢查米を密移出する奸商あるを以て之が防止を實施する爲め今回慶北道廳より總督府内務部長官に交涉し而して鐵道局長を通牒を爲し慶北中の各驛長に命合し未檢米發送を防止すべく爾後嚴密なる調査を遂げしむる計畫なりと

▲諸物價騰貴率　慶北各地方に於ける客年十一月末と本月上旬との比較相場を示せば左の如し

	昨年十二月末	本月上旬
白米	一斗一圓四十錢位	一圓二三十錢
麥	一斗四十錢位	四十七錢
寸	一袋四錢	十錢
針	二十五錢	三十錢
金	三十錢	二十四錢
染料	一ー	一圓三十錢
牛肉	百目二十五錢	二十三錢

▲產業講話　慶北道巡回產業講話は三井技師視察を兼ね巡回講話を爲すべく左の日割に確定せり▲二十五日大邱署▲二十六日大邱署管内▲二十七日漆谷金泉視察▲二十八日大邱署▲二十九日講話會▲三月二日尚州視察▲三日同講話會▲五日醴泉講話會▲九日聞慶視察▲七日安東視察▲十日軍威視察▲十一日大邱署▲十三日慶州視察▲十六日慶山視察▲十七日歸府

▲城洋橋工事　既報の如く慶州街道城洋橋工事は材料缺乏の爲め一時工事を休止中なりしが今般セメント著荷せしを以て直に工事に著手し木材の如きは鴨綠江材而已にては所要の材料不足の爲め更に哈爾賓より輸送の手筈を爲し本月二十日迄には到著の契約なるが昨今酷寒の爲め工事も多少の困難を來せるも四月上旬には竣成の見込なりと

大同江より　拔柳生

大同江識橋の納涼臺に（十四日夜平壤旅舍にて）

春寒の浪がしら柳骨立てる

よべの綫不足にカンくする顏を岩壁の上へ立て、汐ざゐりな臭　居るとグラくしさうになつて來ました（十五日午後鎭南浦にて）

船溜り潮遠き餘寒あさる犬

風の子の船にゐて風たるみする

▲邱電發動機取換　大邱電氣株式會社据付の發電機は頃來故障頻々にして一般の需要者は尠からざる迷惑を感じつゝあるが同會社にては映川水電に合併の計畫なりしも當分水電設立の中止と共に發電機取換の急務を要し今回完全なる機械の購入を爲したる由なれば從來の如く故障を發することなかるべし

▲輕鐵敷設認可　朝鮮輕便鐵道株式會社にては目下總督府宛認可申請中なるが未だ設立認可を得ざるも大邱慶州間慶州浦項間の起工計畫に關する敷設の認可ありたれば遠からず起工の運びに至るべしと

▲木盃賞狀授與　錦城郡薪城面上洞金貴氏は曩に漆谷郡及び仁同郡内に於ける三等道路改修に際し數地を寄附したるに依り其の篤志を賞し今般總督府より木盃一個及び賞狀を授與せらる

▲郡書記休職　慶北漆谷郡書記飯島淸秋同田淵夫の二氏は文官分限令第十一條第一項第四號に依り二月十四日附を以て休職を命せらる

馬山より　大塊

金鯱鐵鯱車窓より觀る春野哉

氣候溫和春も淋しい馬山哉

霞む浦の此處にも欲しい煙突哉

慶山

▲六鄕諭識會　慶北慶山郡六鄕學校組合には戊申詔書の趣旨を實行貫徹せしめんが爲め諭識會及び青年會を設立し時々農事講究會をも開催しつゝありしが十三日には特に慶北道廳より本谷道技手を招聘し六鄕學校に於て農事獎勵講話を請ひたるが聽講者三十五名講話の要旨は朝鮮農業と内地農業との差異稻苗代用水の驅引其他氣候と肥料との關係肥料の選擇小麥落花生除蟲菊甘藷の栽培副業として以疑の製造及び農業の經營方法等に就き親切に說明し頗る利益する所ありき

醴泉

▲組合會議員選擧　慶北醴泉龍宮學校組合にては過般同地公立普通學校に於て醴泉郡書記別府精次郎氏立會の上組合會議員の選擧を行ひたるが左の諸氏當選したり

三馬源五郎、武田善道、新美彦太郎、稻生來太郎、稻生八郎、大丸庄次郎

釜山

▲拜觀團募集　釜山商業會議所にては昨秋京都に於て擧行せられし御大典式殿の拜觀に併せて伊勢大廟の參拜をなすべく目下内鮮人に亙りて會員募集中なるが費用日程大略左の如し

汽車汽船賃（二等往復）	十二圓七十八錢
宿泊料	六圓四十錢
辨當料	四圓三十五錢
其他	四圓三十七錢
計	參拾圓

旅行日程は三月四日釜山發六日京都著七日市内觀光八日京都發桃山御陵參拜直に伊勢に至り大廟參拜十日奈良に廻り十一日大阪著發十二日宮島十三日釜山歸著解散の定めにて申込期日は二月二十五日迄會費は同時に拂込むべしと

人事消息

▲中村彦氏（總督府技師）畜產技術員協議會に臨席の爲め十七日より赤川に出張

▲持地六三郎氏（土木局長）微恙の爲め引籠中の處十七日より登廳す可し

香南雪北

前年の府郡併合で全道の行政區域は整然として眞に便利になつた然るに地方を回つて見ると不便になつたと云つて居る所があるから何うしてかと聞くと郡衙が遠くなつたとか彼の郡と一處になつては此處が衰へるとか役人達が萬事不便で仕方がないとか自己本位から割り出した理屈から不便を云つて居る樣だ▲之では實際の不便だか何うだか分らぬ自己本位の不便から割り出した不便なら實際の不便か何うだか分らぬ公上から見れば自己本位なぞは云ふべき限りに非ずださ地方視察から歸つた人の話だが無論其の通り▲朝鮮の礦業熱が隆起となつて居る例の重石熱は何處迄盛な事かと調べて見ると先月中其筋へ屆出した採取出願數は勿驚二百件以上である相な▲一箇月中に二百件以上とは大したものだ平均一日七件以上に當つて居るが皆棚から牡丹餅の夢を見て居るのだらう▲ハテ此の中で愈々萬金を懷中に捻ぢ込む人は何人あらうか▲慶南の梁山は昔しから特獨の陶器を產出した處だ▲今から五十九年位昔には盛にやつたものだつたが其後衰へて殆んど廢業同樣になつて居たのを今度再興する相な▲歐爭の餘波を受けて藥品騰貴の結果鮮人使用の陶器迄が値上りして居る今日格安の梁山燒が市場に現はるゝ樣になると鮮人間には大受けだらう

李牧隱　晴石老人

文章學問極淵源。氣節高風百世存。最喜一圃更圃去。看來教外別乾坤。

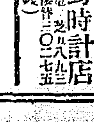
株式會社漢城銀行監査役嚴永斗ハ任期滿了ニ依リ退任シ大正五年貳月九日左記者監査役ニ當選就任シタリ
京城府水下町參拾番地　金用集
右大正五年貳月拾九日登記
京城地方法院開城支廳

株式會社漢城銀行水原支店登記事項中一監査役嚴永斗任期滿了ニ依リ大正五年壹月貳拾四日退任同年貳月九日京城府水下町參拾番地金用集監査役ニ當選就任シタリ
右大正五年貳月拾四日登記
京城地方法院水原支廳

生徒募集廣告
本科第一學年生徒五拾名
技藝科第一學年生徒五拾名
右募集ス　志願者ハ本年壹月貳拾日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ向詳細ハ本校又ハ平安南北道黃海道管内各公立普通學校ニ就テ承合スヘシ
大正五年二月五日
平壤高等女子普通學校

旅館 月見館
東京市芝區愛宕町二丁目　茶代廢止席料なし　閑靜清潔交通便利　電話芝二八六五番

謝近火御見舞
鬼頭兼次郎商店々員御一同
河野竹之助商店々員御一同
森文治郎商店々員同
伊藤辰之助殿
潮良清太郎殿
近隣諸氏
近火の際は早速御馳付被下候且御見舞を辱ふし難有御禮申上候一々參堂御禮可申上等の處混雜中御芳名洩れも可有之と存じ乍略儀以紙上御厚禮申上候
仁川府新町四十六番地　吳服商　全源根

安價實用時計　親玉
軍人（新形流行）腕卷時計

（價格定價表要二錢）
千野時計店

大邱軍威義城安東間
定期乘合郵便馬車
小荷物運送、物品委託購入、代金引換
荷馬車業開始
安東邑内　郵便馬車　主任　國井定次郎
大邱營業所　錦町（電話五一八番）

東洋一の魁（新形流行）
内田式ストロング靴は堅牢優美、價格低廉、經久保證す
御旅行用　靴と鞄

◎定價表郵券二錢
東京市芝區日陰町　内田靴鞄製造所

齒科全般治療開始
大邱府上町農工銀行東隣
齒科醫士　菊瀧玄勝

●輝く機影

滿洲耐寒飛行を觀る

本飛行第一日(十四日午後十時奉天客舍に於て) 特派員 勝村長平

十四日。午前八時。氣温零下二十度。風向南々東。風速地上三米突。高度六百米突に於て六米突を示して居ると測候所からの報告を受けた。昨日よりも寒い。が、疎らなる新市街も南方の平野も、悉く深く朝霧に包まれて居るので非常の靜かさを感じた。奉天公園の中を通ると、霧が楡の木の梢に凝結して恰も爛漫たる山櫻の如うである。やがて霧が少し晴れると朝日は此の霧の氷結した花に差し射すと、滿枝の氷華は悉く白銀色の輝きを放つて實に寒國で無ければ見ることを得ざる一奇觀である。その氷華は又頗るデリケートなるもので、そよ吹く風にも堪えられぬ様にハラ〳〵と散つてゆくのである。飽かぬ氷華の公園の中を通り過ぎて練兵場に這入れば、此の時早くも昨日のモ式十六號及び二十六號の兩飛行機、及び百馬力の發動機を取付てある尨大なるニユーボール式單葉飛行機も、既に練兵場に引出されて居た

▲日米總領事館を訪問

午前九時。氣温零下十七度。川上中尉は十六號に、岡大尉は二十六號に搭乘し、薄井奉天憲兵隊長が同乘した。十六號は暫時にしてプロペラーの響勇しく朝の空氣を振動して滑走約三百米突許して悠々と飛昇し始めた。滑走の距離の長いのは雪の爲めにタイヤの摩擦の意の如くならぬ爲めであると、飛行委員の梅戸中尉が詳しく說明して呉れた。十六號機は既に飛翔し、西塔の上より二百米突餘の高度を以て大圓形を作りて、練兵場を二週して軈て百米突の低空を飛行し着陸したが、十六號と一緒に飛行しようとした岡大尉の二十六號機はどうしてもモーターが廻轉を始めない。發動機の技師が百方苦心して見てもプロペラーは一向に動き出さない。『愈々故障が起つた』と人々顔を見せた。岡大尉も機上から降りて種々と手を盡して見たがどうしても動かない。機械の故障は點火電線に流れ込んだモビールが凍つた爲に、ガソリンに點火しないのである。しかし、火で暖める譯には行かぬ處だけに甚だ困難である。薄井憲兵大尉も遂に止むを得ず機から降りた。此の時、川上中尉は再び十六號機を操縱し、薄井大尉は之れに同乘して飛昇し、城内方面より我領事館及び米國領事館等を訪問したる後着陸した。

▲高度千五百米突

二十六號機は如何と見ればまだ腰を据えて動かうとしない様子であつた。今度は中澤中尉が岡大尉に代つて機上にて操縱し前後一時間半にして漸くプロペラは廻轉を始めた、併し一度故障を起した機に對して觀覽者は皆た不安を感じて居つた。中澤中尉は圓形を描きて一二三回約五百米突の長滑走を爲し、發動機の試驗を爲したる上飄然として離陸し練兵場を三廻する内に漸次高處に翔飛して西北を指し、城内の上空より遂に肉眼にては機影を認め難き迄に揚つた。此の高度は約一千五百米突にして航空時間五十分餘に渉つた。

▲鬚に氷柱が下がる

中澤中尉は十一時五十五分に着陸するや語つて曰く『三百米突から四百米突の間に在つては非常に風が烈しく六七米突位であると思ひながら揚つて千米突位の處まで行くと風は全く無くなつて其の代りに寒さが馬鹿に烈しくなつて來た、寒暖計を見ると零下二十度の處で止まつたまゝ働らかなく爲つて居た。最も此の寒暖計は最初から幾分か風を引いて居つたらしかつた。其の内に賦さし指の先が寒さの爲めに疼痛を起して來たから漸次降つて來たのであると鬚に氷柱をガチャ〳〵いふ程下げて來た。何んでも零下三十度位であつたらうと云ふ。しかし機は動いてさへ居れば其の熱の爲めに此の位の寒氣では凍つて止まる様な事はないさうである。

▲單葉飛行機試運轉

これで午前の飛行を終つて午後には飛ばないと云ふことであつたが、朝來南方の風向東に變り、且つ氣温降下の模様あるより再び試驗飛行を行ひ、川上中尉一六號機を操縱し、廣中關東都督府參謀同乘し一時四十分より二時四十五分に至る一時間に高度六百米突と云ふ十三日以來の最長時間最高レコードを作り、中澤中尉二十六號にて短時間の飛行を爲したる後、伊庭中尉二十六號機を操縱し黒木大尉之れに同乘し、約七分間百メートルの低空飛行を續けた。氣温は六百米突に在りて零下三十一度。風速は同じ高度で七米突位であつた。ニユーボル式單葉飛行機は此の時澤田中尉が發動機の試運轉を行つた。百馬力だけに其の音響は二機に比して非常に高くすさまじいものである。單葉式飛行機はプロペラが前に付いてあつて蜻蛉そのまゝである。機體はモ式に比して非常に偉大である。十五日十六日の兩日は鐵嶺遼陽の偵察飛行と訪問飛行をする事になつた。通信係の梅戸中尉は其計畫を讀み上げた。十三日以來の試驗飛行で頗る滿足なる成績を得た我が十六、廿六の兩飛行機は愈々北の方鐵嶺南方遼陽に遠距離飛行を試みる事になつた。

▲支那人大に驚く

在留邦人の意氣高し

飛行機に頭の上を飛び廻られた支那人の話に依ると、飛行機が奉天に飛んだのは初めての事ではない

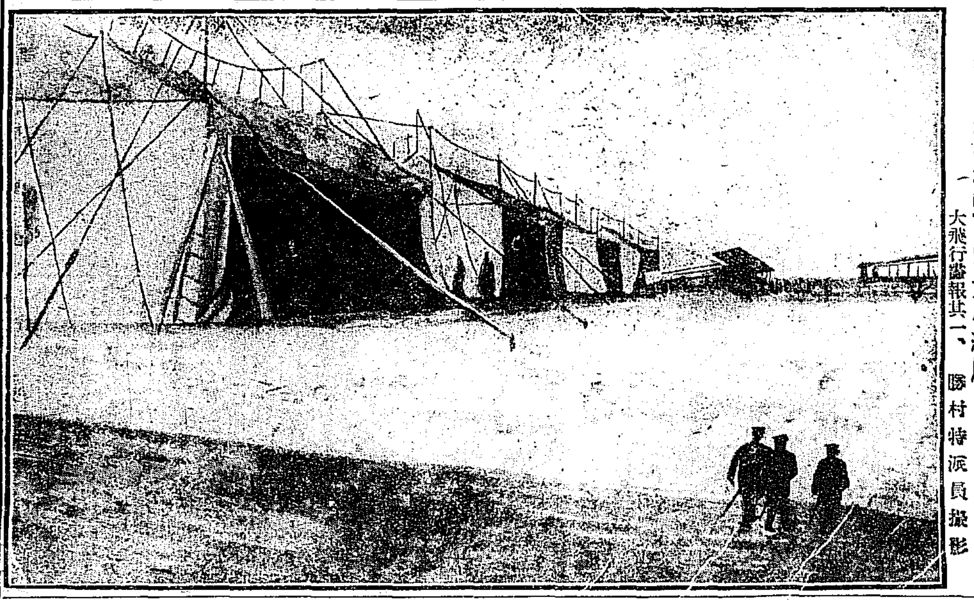
■日露戰爭の前に 露西亞人が來て飛ばした事がある、その時の方が高く飛んだ(ト嘘を吐いて居る)が矢張り心持ちの好いものではなく大變癪に障らせて居つた者も多かつた様子であつた、ナニ今度は日本で飛すのだから好い心持ちです(は苦しい御挨拶だ)。城内支那人の飛行機に就ての

■噂は大した者で日本兵が愈々歐洲の戰爭に出發するのだと物識顔に吹聽する者もあればナニ支那へ飛行機を高く賣付けに來たのだとも云ふ。飛行機が六十臺も來て居るなどとも傳へられて居るが、何れも驚異の眼を見張つてプロペラの音が聽くと二階の窓を明けるやら、此の寒空に

■家屋に登るやら 非常な騒ぎをして居る、朝乘つた薄井大尉の話に支那兵が練兵場中に操練を止めて眺めて居つたと云ふ事である、

■小西鮮銀出張所長 の話しに日支問題以後兎角支那人が高慢の態度を頭して來た際に頭の上でプロペラを唸らして貰ふと斯んな支那人ばかりの間に居る城内の日本人は大變心強くなりますと。觀覽人は十三日は殆ど日本人のみなりしに引換へ十四日には多數は支那人であつた殊に午後からは

■二十七師團から 若い支那の將校連が小さな蒙古馬に乘つて五六人宛や 紫の綺麗な軍服を著て見に來て居つた



奉天練兵場頭の四大格納庫
(大飛行齋報其一、勝村特派員撮影)

●御下賜の輓馬來る

瓜を二つの得難い一對=頗る元氣

天皇陛下から寺内總督に御下賜になつた輓馬二頭は遥々東京から馬丁附添にて十五日午前六時二十分南大門驛に著いた、驛からは二頭共大和町警務總監部の構内

■總督府厩舍に 伴れ行かれて昨今はまだ東京から貨車に揺られた長途の旅行の疲勞を休めて居るが二頭共にかく〳〵の元氣である、元來

聖上陛下から斯かるありがたき御下賜のありし事は先年 今上陛下が東宮に在せし時、御渡遊ばされた當時の

■御召馬車用 として召された駿馬がそのまゝ故伊藤公に御下賜になつた以來の事である。馬の飼料としては毎日麥、燕麥、麩、切藁、枯草等を與へて居るが今二三日も經つて

■長途の疲勞が 休まつたならば馬車を輓かせたまゝ毎日一時間半ばかり運動をさせる筈である、馬の名は『大用』に『大機』前者が九歳後者は十二歳普通の馬としては少し壯年を過ぎて居るけれども毛色は二頭共に美しい鹿毛のそろひに前額には

■共に白の星毛 を有つて居る、猶ほ兩方共後肢がそろひの白毛であるから二頭立てゝ並んで驅る時は見事である、それから專門家のやかましく云ふ旋毛の珠目も兩方共に正しく背の毛はそろひで青毛である種は兩者共雜種であるが大用の方の親はダシエーといふ洋馬、丈け

■五尺三寸五分 體重は百四十貫五十匁、また『大機』の方は一回雜種のゴールデンが親馬、丈け五尺二寸五分、體重百四十一貫匁體尺を重量も毛色も肢も總て瓜二つに揃つて居るのは輓馬としては實に得難いものであるといふ

足ならし 警務總監部厩舍前の『大機』及『大用』

●牛曳き列車を轉覆せしむ

咸鏡南道咸興郡州東面驛龍里の韓錫寛(三三)は昨年十一月二十三日午後三時頃居里の地域なる咸興西湖津間の輕便鐵道線路踏切りを通過するに際し自分の牽き居れる牛車の通行に便ならしめん爲め附近に有合せたるレール三本を右の踏切りに横たへて通過し其儘に放置したる爲め同日午後三時二十分頃西湖津より咸興に向け建築列車疾走し來り右軌上のレールに衝突したる爲め顛覆し爲めに乘組員大岡德穂は車臘の下敷となりて即死するに至らしめたる爲め錫寛は咸興地方法院に於て懲役八年の處分となりたるを京城覆審法院に控訴申立てたり

●警察官射撃規程

當局に於ては警察官の射撃技能を訓練し士氣を旺盛ならしめ有事の日に際し沈毅勇敢に各種の任務を遂行し得せしめん爲め警察官署長をして每年二回部下に實彈射撃演習を行はしむる事となり今回朝鮮總督府警務總監部訓令第七號を以て全文二十一頃目より成る警察官射撃規程を發布したり

●旭町一丁目小火

十五日午後八時十五分頃京城旭町一丁目百十七番地相澤某所有の空家より出火したるも附近の者發見直ちに消止む原因は空家の番人炬燵に火を入れ蒲團を被ひたる儘外出したるより燃え出したるものなりと

●春川の兎狩り

去る十三日江原道長官李圭完氏の主催にて兎狩を試みたり午前九時集合所たる守備隊練兵場に集合參加者は守備隊憲兵警察官道廳郡廳慈惠醫院郵便局各學校銀行組合員等にて總數三百餘名鳳儀山を圍みたるも更に得るところなかりしも豚汁にて野外會食を爲し午後四時歸途に就きたるが頗る興多かりし(春川)

●慈州撞球大會

去る十一日より十三日まで三日間に亘り…移るや古道君の猛キュー恰も無人の境を行く如く八二五、二の三キュー…會した…會期中料理屋組合より美形數名菓の接待に當らしめしが…

…濱江通七番地に洗濯業を開業し同三十一日廢業するに當り洗濯物として…無職李洛顯…邸路五丁目李留應…警官に取押へられたり

●鍋一個

十五日午後六時頃京城…といふ者なり

●掬取る

京城玉仁洞無職金…

女子文藝會編纂 美裝大本製本既成(新刊圖書目錄御申込次第進呈す)

萬代寶典 女子文章百科全書

申込金一回金…送料共に申込み第二回は本書後拂込み第三回分は翌月拂込の事 一時拂込の方へは二圓七十錢に割引す

本書の特色 本書収むる處書簡文、言文一致、記事文、論說、日記、美文、韻文、和歌、修養、金言、傳記、名士逸話等に至るまで凡そ世の文章に係るものは細大漏らさず包含し、何れも行文流暢なるは本書の特色なり、町嚀を極め一々振假名を付し、以て小學生時代より一家の主婦となる迄の參考書として座右に備ふる諸姉は現代を知れる婦人なり、資を節約して本書を求めらるゝ家庭は人後に落ちず何等の益なる事を思ひ當らるゝならん、本書の内容は各方面に亘りて文に言に參考に最も適當なるは勿論日に月に婦人の責任を重からしむる秋に當りて書架の粧飾用に適當なる共に社會教育の一助として本書は又優美堅牢にして良書を刊行する共に學校卒業の諸嬢に賞與品として最適品なり、本書の如き同じ價を以て本書より良く其人格を示すものなり、本書を修得せば女學校卒業一片の書程度の價力を備へらるゝ事を信す、早く本書を購ふ人は勝利者なり即時申込まれよ。

尚ほ各地書店にあり若し賣切の節は直接申込あらば直に送本す 貴意に充たざる時は五日以内に限り返金す

東京市神田表神保町二 電話本局五壹貳貳八 振替東京參貳 脩學堂書店

露國より大註文を受けたる—

下羽式電氣マッチ 壹個 貳拾五錢 送料二錢

下羽式電氣あんか 一式付 特製 壹圓五拾錢 普製 壹圓參拾錢

前金御注文を乞ふ(各送料十二錢)

東京芝區新堀町一(金杉橋電車停留場際)

製造發賣元 下羽電機商會 電話芝三四〇九番 工場用 電話四三九四番 振替東京三一九三六番

ぢの痛み及び しもやけしらず

しもやけ、ひゞ、あかぎれ又はぢの痛み、やけどに困難なさる方々は誠に偉大なる効力のある金泉膏を御すゝめ致します此の金泉膏は製劑以來凡百餘年を經て居る家傳の良藥で一般の賣藥とは少々毛色が違つて居ります金泉膏の實際よくきく事は決して手前味噌や誇大の申上様ではありません一度御使用下さいまして皆様に御吹聽の程願升何分先代が頑固な爲め今迄廣告類は一切不致只東京の有名な藥店に販賣致させ又は本店直接に御用命願居りし所今回御ひいき様の御すゝめに從ひ廣く皆様に御披露申上る次第なれば何卒當分の間發賣元東京小石川區老松町二番地山崎謙信へ振替でも郵便切手でも御封入御注文下されば直ちに御送申上升此の報道の好機を失はず今速に今直ちに御實驗あれ

山崎家傳 金泉膏 試用分 金拾錢 徳用料 金參拾錢 金五拾錢 (送料は不要) 振替東京二三五五八番

完全ナルアルミニユーム接合

其ノ實質ハ左ノ試驗表之レヲ證明ス

板の種類	厚(吋)	幅(吋)	抗張力(磅)	記事(摘要)
アルミニユーム板接合せざる者	〇.〇三四	一.〇〇〇	七六六	
同 重ね合せず接合したる者	〇.〇三四	一.〇〇〇	七五一	接合點より切斷す
同 五厘重ね合せて接合したる者	〇.〇三四	一.〇〇〇		接合點以外より切斷す

右試驗成績及報告候也

大正四年十二月廿三日 遞信省電氣試驗所第一部

御希望の方は御來店の上隨意に御實驗を乞ふ(說明書御申込次第送呈)

東京市日本橋區本銀町二丁目(電車通) 電話 本局 五三一四番 三友商店

蘇つた龍山市街(二)

空家札がドシぐ剝れて行く

京城府の龍山出張所に就て調査して見ると昨年末現在の戸口數が兩市街を合せて内地人四千二百六戸一萬四千三百五十一人朝鮮人四千二十六戸一萬八千九百九十一人支那人十七戸九十三人外人一戸一人で合計八千二百五十戸三萬三千四百三十六人之れを男女別にすれば一萬七千七百七人の男と一萬五千七百二十九人の女が住んで居ることになつて居る。狹い様に見えても立派に大きな一つの市街を形造つて居るのである。更に此の三萬三千餘名の人々が如何なる職業に依つて生活して居るかと云ふことも是亦頗る研究す可き問題である。

◇―夥だしい數字―◇

物品販賣業者は内地人二百七十人朝鮮人百二十四人、製造業内地人百十二人、朝鮮人三十二人、請負業内地人四十二人などは重なる職業であつて此外に金貸業内地人十九人朝鮮人十五人物品貸付業内地人八人朝鮮人二人、洗濯業者内地人六人、染物業内地人六人、湯屋内地人十四人朝鮮人一人、散髪屋内地人六人、運送業内地人二十一人それに料理屋が内地人二十四人、飲食店が内地人三十五人朝鮮人二十一人を數へられて居る旅館も内地人で十軒あり下宿專門では内地人が七軒朝鮮人が一軒あるそれに三百四十九臺からの自轉車と百十一臺の荷牛馬車と二百九十五臺の普通荷車が在る

屆出濟みの犬の數さへ三百六十六頭數へて見れば仲々盛んな數字だ

◇―盛なる工業市―◇

京城にも勿論各種の工場があつて多數の内鮮人職工を使用して居るが龍山では印刷局、發電所、瓦斯製造所、鐵道工場其他に多數の職工が使用されて居る。出張所で調査して相當の税金を負擔して居る者だけでも内地人二百三十四人朝鮮人二十七人の職工が居る。此他鐵道工場邊では約千人からの職工が居る。尤も前に掲げた營業者に於ても一個年の營業見積額五百圓に到達せぬものは府税を課せないのだから前の數字以上に駄菓子屋とか玩具屋とか澤山あるに違ひないこれだけの戸數でこれだけの人が居て街が繁昌せぬ譯はない筈である龍山の某實業家は色街の賑ふ所は必ず市況の旺盛な表象だと云つて龍山の彌生町の賑を擧げた若し眞だとすれば龍山の内容は大に充實して居るものといはねばならぬ

◇―黄金の雨が降る―◇

有體に云へば今日迄の龍山は兩市街共不景氣な街であつた何れの町を通つて見ても必ず二軒や三軒貸屋札の斜に貼られて居らぬ所はなかつたそして住民の中で相當の資産を持つた者は大抵京城に移轉して終ひ只家賃の低いのをのみ目的とするものが龍山に向つて移住して來たものであつた、所が多年の懸案であつた二個師團問題が解決して龍山に師團を設置されることゝなつてからは打つて異はつた樣に滅切り景氣づいて來て。貸屋札が剝れて『約束濟』の貼札と變つたのみでなく、彼方此方に新築家屋さへ見に出して來た其上本月の七日から師團の建築軍用地たる師團司令部前の民有地約三十萬坪が買收さるゝことになつてからは十萬圓に餘る土地買收費の黄金の雨が降ると云ので一層の人氣を換で居る。

龍山の新官舍建築地=總督官邸附近

◉平壤を包圍す

昨秋以來平壤には殆んど强盜の影を見なくなつた朝鮮の街暦年關も何等の物騒もなく越えて終つた之れを昨年以前の强盜出沒頻々たりし時代に比べると心地よい程平穩である其の因つて來る所を觀るに第一今年は其の北で勞働者の職放れが少なく又燃料などの生活費も少なくてよい事次に市中所々に破落者を見た去年などに比べると今年は一般經濟界の景氣がよく小さい所に迄其の潤ほひが行つてゐるらしいそれから警察の警戒につてゐるらしい………コレが餘程奏効しつゝあるやうに思ふ、前年まで平壤の警察は市中のみを嚴戒してゐた然し予は昨冬前時代の方針を一變し平壤府と田舍を連絡する通路を主とし平壤全市を不完全ながら包圍の形をとつたそして市内には常務員の外必らずしも多くの警官を派出しなかつた、何となれば平壤市中の强盜は大部分平壤市中より出で地方の火賊は田舍から入り來で此の出つ入りつする賊を警戒するには平壤の外廓を固むるに如くものなしと信じたからである、一つ予は内鮮人を問はず浮浪人の取締りを嚴にしてゐる一定の職なく辻々を漂浪し歩く風來者は今何所の如何はしいものが少なくない何はあれ此の平穩は喜ばしい事だ(福田平壤署長談)

寄席

▲浪花館の恭齋 昨年十二月浪花館にて約一個月打通して評判を博し新年の節一流と言はれた京山恭齋は其後九州、四國、大阪などを巡業して再び浪花館に出演中なるが恭齋は例の探偵物の談を語で人氣を呼び歌の美音に平井權八と云ふ粹きな讀物にて受け居り因みに恭齋の二の替り讀物は雨席講談の新話河内十人斬りにして番外のお富は浪曲にて面白し

▲壽座 木村新藏一行十七日の替りは不如歸上塩行き次第二十錢均一三等十錢なり

▲御成座 十七日の替り狂言は奧州安達ヶ原と切は飛驒大和往來封印切の場にてその役割は左の如し

紫式、忠兵衛、八橋太郎(海老松)福森、梅川、(仙太郎)孫夕、仲居おゑん(勝雀)生駒之介、利一、弟宗任、一つ家婆、八右衛門(紫幡)貞任、(朝鮮)

商況

七十圓騙取

京城長沙洞[illegible]圓を騙取して逃走したるが鍾路署の[illegible]なりし鍾路署の巡査が引つ捕へ取調ぶれば此者は京城通洞の丁學柱(二八)

債券現物特電

東京 十六日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	七一、三〇	……
日韓瓦斯	[illegible]	……
朝鮮銀行	一七、〇〇	……
朝鮮瓦斯	一四八、〇〇	……
南滿鐵道	[illegible]	……

公債直取引

東京特電 十六日出來値段(前日との比較)

特別五分	五五、四〇	……
五分利	[illegible]	……
甲號五分	八三、〇〇	……
二回四分	八三、九〇	……
一回四分	九七、〇〇	……

深川在米特電

十六日 現在高

朝鮮米	一七六、三六八
内地米	一〇二、七二八
朝鮮米	九三、二四六

東京期米特電

十六日前場

	前場	後場
二月限	三五〇	……
當限	三四〇	……
中限	三五四	……
先限	三五一	……

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

十六日前場

一月限	一二六、〇〇	一二六、八〇
二月限	一二七、三〇	一二七、六〇
三月限	一二七、六〇	一二八、〇〇
四月限	一二八、二〇	一二八、八〇
五月限	一二八、九〇	一二九、二〇
六月限	一二九、八〇	一三〇、一〇

朝鮮物産特電

▲十六日前場

當限寄付	一三二、八一	……
中限寄付	一三三、六四	……
先限寄付	一三三、八二	……

[illegible]

雜報

◉株式底强し

前週末來下押し一方なりし株式も抜が格別有力の敗材料を現用せしといふにあらず[illegible]

◉毛斯は大暴騰

[illegible]

◉種油類は下押す

時價六十片搦みの稀高値に[illegible]

至二十五錢安乃至二十錢安を呼び

◉千瓢は瀬騰

◉鑵詰類强硬

八十錢乃至一二十四圓七三十圓を唱ふ

◉凍豆腐品薄

◉蜜柑行悩へ

◉停滯氣味を帶び

一沸騰の品薄の聲

下關相場

▲朝鮮白米は不味[illegible]

雅賓 仁川海岸町 取引所仲買人 迅速 電話一六六五番 二三〇番

京城正米

○京城白米	十三圓七十錢
○同二等白米	十三圓八十錢
○同(當用)	十二圓四十錢
○京畿江洲大豆	九圓七十錢
○平川大豆	九圓九十錢
○元山大豆	十一圓二十錢
○黄州大豆	十一圓六十錢
○赤洞小豆	九圓六十五錢

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米

十六日前場

▲八錢安入一一一二百八十五錢安

高移

中限の存外强硬

更に動かず

前場の手振り

市場零聞

仁川米豆取引所 十六日の四月限

零作悲觀利目薄

◉下關米取引所

賈期期當早

値を顯出

追々變質期に接近

▲更に新安

得る哉疑問

買思惑出來

米の壓迫を見ず鮮内地に於て正

北濱だより

割高の値頃

▲鐵工株買氣旺盛

◉三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話長[illegible]

賣買取組高

てんかん 病で困る 方永年の難症にも奏効顯著なる專門良藥あり 切手三錢送れ詳報す ◎名古屋市南小川町東側 救生館

月さらゑ一日丸に限る 登錄商標 ▲胃月滯りたる人も直試みよ… ▲効顯實に的面… 月やく不順を…調る 月やく不通を…通し 月やく困難を…治す 一日丸は 下腹、腰、子宮の痛みなどを治癒す… 本舖 名古屋市廣小路通 小林盛大堂

朝米 ㊣橋本猶作 致富之寶無代進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 振替口座大阪二一七二一 電話長北 一五四八 二五四九 三一〇

燒麩製造 各種粉類 製菓原料 大邱府錦町郵便局前 大野支店工場 電話二二七番

胃病新藥マーゲン 胃病根治法 京城南大門通二丁目 新井藥房

純粹培養ヨーグルト 模範牛乳 太正塚肥醫獸走場 京城大和町四丁目 東亞牧場 電話五二一番

朝鮮米雜穀移出商 依托販賣並に遭難一切 仁川濱町 西尾商會代理店 主任 北島丑郎 電話五四五番 本店入商 大阪北濱二丁目 西尾商會 電話本局二四〇八番

御買上の光榮を蒙ムりて特に撰ばれて長き途に數ある中を最優良品と御認め被下候

M印ゴム足袋 賣行盛に倍々發展 三田土ゴム製造合名會社製造 發賣元 大邱府 飯田商店

巻煙草 品質本位 君が代……定價三錢 三笠……定價三錢 鹿鳥……定價二錢五厘 前之園商會 大邱電話長二四一番

くすりは山岸 諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械 懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候 京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話 一二一 一二二 二八 振替貯金京城一二三

◎原鹽直輸入 ◎再製鹽大販賣

從來弊店儀幸町二丁目合資會社小野商會内に於て營業致居候處今回業務擴張と共に左記の所へ移轉仕候に付尚今後舊倍の御引立あらん事を奉懇願候

二月十五日

釜山本町二丁目 合名會社 鈴木商店京城出張所 釜山出張員 電話長七六二番

大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衛生無害 登錄商標 白鶴 釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

三和高麗燒は宮内省御用の光榮に浴したり 香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々 三和高麗燒 朝鮮特産海老の精 海老の精は風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土産として絶好の珍品に御座候 朝鮮鎭南浦 三和高麗燒元 海老の精發賣元 富田商會 特約店 京城龜屋 同 津村商會 仁川 龍川商店 平壤 龜屋支店 大邱 龜屋支店 清津 青木商店 江景 岡商店

越後大評定
第百三十二席 早川貞水口演
長勝寺門前の狼藉

田口勘十郎の倒れたるより弟の川上與惣次は汝兄の仇覺悟ッと皆川目掛けて一文字に斬つてかゝるを皆川は體を捻つて四五合刄を交へし與惣次が「エイッ」と切り込む一刀に三太夫は二足三足後へ蹌踉く所をば肩先より又一刀切下げる途端に彼方よりとびきたる半弓のために目を射られ是又ドッと倒れる所を卑怯にも小栗方の家來走り來り、横腹より突込みたれば、與惣次は其まゝに息は

絶えたり此時大野次郎兵衛は隙を窺ひ逃れんとするを、野呂勘兵衛「汝逃してなるものか、大切なる證人なり」と跡追掛ける、大野バッタリ足辷つて倒れる是れ幸と捕つて押へ『汝を逃してなるものか一度永見樣の家敷へ連込んで事の次第を訴へる迄は命に換へても逃すものか』と引き立てんとするを此時何れよりか打つたる鐵砲の音、ズドンと云ふ聲もろともにとび來つたる彈丸に、憐むべし勘兵衛脊から胸板へかけ打貫かれ、其まゝ相果てました、跡に殘りしは市原半九郎たゞ一人迚ても敵はじと見て取つたる故、前へなる小堀へと飛び込んで兎も角も此場は遁れ去り、若しも永見の家敷へ行かれずば、荻田か山田の家敷へ遁れ往き、事の仔細を言上せんと今や堀の内へとび込まんとする途端、又もや堤の上より

小栗美作の打つたる鐵砲、殉音高くとび來り是も脊より胸板を打貫かれあッと一聲叫びまして其場へ倒れて相果てました、此時大野次郎兵衛に於ては頓て起き上り以前來た途を往かんとすると「次郎兵衛待てッ」と聲を掛け靜かに此處へ出でたるは小栗美作、覆面のまゝにて「汝飯山の間道に於て田口の爲めに捕はれ、密書を奪はれたりとのこと、其密書は如何相成り居りしか心得居らう、如何ぢや」と云はれて大野は、血汐に染みたる田口勘十郎の懐中へ手を差入れ、探り見ると右の密書が御座いましたから、之を取出して美作に見せる、美作大に喜び『此書さへあれば大に安心、然らば路用の金子は、別に之を遣すに依り、早速其書を携へ途中は能く／＼用心致し、江戸表へ罷り越し、申付けたる用件、速に辨じて參れ」「心得まして御座る」大野は其れより宙をとぶが如く、道を急いで江戸表へ出立する、此方は後にて四人の碌供は、それ／＼石塔を結び付け前の堀の中へ放り込む、殘りし血汐は、再び雨の爲めに流れて終ひましたから、誰一人此事を知る者なし、翌朝に至り、昨夜鐵砲の音が二度ほどしたが、何事があつたらうと近邊の町人共が噂して居りましたが、それも寺町の事とて僅かに二三軒の町家が猶疎にあるのみ、此樣騷動のあつた事は少しも氣が付きません、氣の毒なるは四人の足輕で御座います、越後家再興の時、此四人の家來は取り立てられ、越後の四家と云つて、今に彼の地に繁昌いたして居ります、扨此方は大野次郎兵衛、夜を日に繼いて江戸表へ參り、酒井雅樂頭殿の御家來勅使河原三右衛門方へ罷出で、小栗の密書を差出すと「御使大儀」と云つて先づ屋敷へ兩三日留置き、そこで小栗よりの密書の趣、私かに渡邊大隅守綱元へ申上げました

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病
腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 痳疾 皮膚病
専問
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院
電話四一九番

お聞きなさい

△室内飛行家が來る　曲乘飛行家として名の聞えたスミス氏は驪て日本へ來る事となつて居るが彼は小さな飛行機を作つて室内飛行と言ふ事を初めて此度非常な喝采を博して居る相だ

△山火事消防隊　江州の山と云ふ山は大概險いため若し山火事でもおこると獨ての消防隊でない消し止める事が難かしい目下滋賀縣ではその山火事専門の消防手を設置する爲め人員の選定中であるが、隊員全部の用器としては鑢と鑵とが備へられサア火事となつたら一同一定の場所に集まり樹木を切り倒して押寄せる火道を絶つのがその消防の方法であるさうな

△一夜收入五百萬圓　佛國田の聲樂家でエンマ、カルベーと云ふ夫人は聲樂に依つて祖國に對する軍資金を集めんとし目下米國へ行つて唄を歌つては熾んに金を集めて居る歌ふ唄は佛國々歌にてマルセーユの一點張りさうして紐育では一夜に二百五十萬弗、市府でも百萬弗を集め得た

△御乳人の父　第四皇子澄宮殿下の御乳人として鈴木角藏の妻道子（二三）が任命された、然るに其實父は横領罪で入獄した前科者である事が後に判明し、宮内省では實に恐懼して居るさうだ

二月十八日九星
舊正月十五日乙酉
本命一白 北危先負

△一白 他人名儀の事有日新事見合 西方は吉 暗劔北△二黑 不慮の事有日新事控へ 常の事は吉 旅行は守るべし△三碧 [illegible] 萬吉△四綠 好運利達の日 [illegible] 萬吉△五黃 [illegible]△六白 [illegible] 萬吉△七赤 [illegible] 萬吉△八白 [illegible]△九紫 [illegible]

演藝案内

京城 大正館 電話八七三番
[illegible]

本町 壽座 電話五七八番
新派 角藤派木村濱憲一行
[illegible]

明成座 御 電話二九一番
[illegible]

壽町 壽館 電話一〇五〇番
武藏大椽、桃松軒巴合同大一座
[illegible]

新龍山 佐久良座
新派自然劇團三輪寶一行
[illegible]

黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七
[illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番
京山若月 京山恭爲合同大一座
△今夜の讀物 三ツ勝（京山爲春）△野晒 三郎勇士（吉田若春）△平井權八 京山若月（長講一席）△女天一 席京山恭爲 生のお宮（河内山）十八人斬（長講二席）
○晴雨に不拘每夜六時より必ず開演

りん病
多年の慢性にも効驗著しき良藥あり只一劑を試用せよ自宅にて秘密に其良藥と療法の詳細を手三錢送れば治療出來る
名古屋市南區宅よ病者は切
武藤龜吉

特許機械製
高等
ほまれ味噌
特約發賣元 京城黃金町三ノ一七
三巴商會
京城南大門外
大三商會
電話二一〇九番

生殖器障害
眞空療法
不完全生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか早漏精力減退夢精勃起不全等の病症に新案特許眞空療法器を使用せしむる時は一回每に効力が現はれ他の療法の如く無効の煩ひ更に無し
名知に使用方法は說明書無代進呈す
東京神田区小川町五二番
眞空療法研究所
電話神田七二二番

品質卓絶中味豊富
優等
清酒

攝津灘魚崎
釀造元 大塚釀造所
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通二丁目
發賣元 大塚京城支店
電話四四〇番
振替口座五七〇一番

出版界の珍書
實行の如く飛ぶ
四版
好評湧如
男 女
戀の秘訣
紅葉粋人著!!
△男の惚れる女は何うか
△女はこんな男に惚れる
△女を操縦する秘法
△地方の女氣質と其戀
△女の嫌ふ男
△女を惚かして恋の告白
△金を活かして使ふ秘訣
△女の内心觀破法
△東京人の氣質と其戀
△奇怪なる閨中の解剖
△東京の女の色氣の女
附錄 姙娠と避姙
古今の姙娠法と避姙法を明細に研究の法説く
△女の惚れる心理
△色事に男の女を顔で讀むべき事
△增好相撲の事
△大秘訣
△九の女が好く男
△女の顔の長短
△男女の關係
△東女の生理の心理
△男を操縦する秘訣
△遊女に持てる秘訣
△花柳界の男女の手段
△料理屋の女中の秘訣
△女學生の同性戀
△男女色情の差
△通人の心得べき事
此外内容秘密!!
定價五十錢 送料六錢 密送八錢
東京市麻布區笄町一八〇 振替東京二七四三
東雲閣

入院分娩應需
婦人科
産科
京城旭町壹丁目
院主 衣笠茂
中央婦人病院
（電話一二三四番）

板硝子直輸入商
釜山本町
上 村上商店
京城相場表御一報次第附送仕候
電話 本局 一十九番 振替京城一四五番

好評
生殖器圖解全書
見よ、詳しき事を諸君かくの如き珍書は著されたり
賣切れぬうち速に求めよ
ポケット形 美本 製本頗る優美 特價五錢 郵料共 手一冊 五錢增
發賣所 東京市神田區鍋町電車通り 振替東京一六九八六番 明進堂書店

御園白粉

獨特の光榮

御園白粉の有する光榮は化粧品界獨特の光榮なり、御園白粉製出の動機は實に忝くも宮内省侍醫局より畏き邊りの御料として調進するの恩命を拜受し、長谷部仲彦氏が苦心の結果優良完全なるものを發明したるにあり、爾後十數年今に御料の御用命を蒙るの光榮を有する、誠に御園白粉の本邦唯一の化粧料たるに因す。

製造本舗 東京芝公園 伊東胡蝶園
發賣元 東京日本橋橘町 丸見屋商店
(56)

京城日報

十七日朝刊 (第三千三十二號)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ケ月金六拾五錢 郵送に限り郵税共一ケ月金七拾錢 三ケ月 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字場所指定一行は二號活字の一行は五號活字同様 ▲六號活字同様
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 卷口政太郎
發行所 太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯 三四五番 營業 二三八番 振替貯金口座京城三〇〇番

宗教學校の改善進歩

京城日報

教育の目的は善良なる人格を養成すると共に、時代の要求する學術技藝を教へ、學生の社會に出づるに當り、彼等をして直に有用の働きを爲さしめ、自己の生活を安易に得しむると同時に、國家の進運に貢獻せしむるに在るは多言を待たず。此故に國家は其國體と時勢の要求に適應する教育制度を定め、官立公立の學校は勿論、私立學校もこれに遵據して學生々徒を教育せしむるは當然にして、斯の如きは文明諸國の實施しつゝある所なり。舊韓國時代の朝鮮に於ては百事猶混沌たる狀態に在りて教育の方針の如きも確定したるが如くにして實は確定せず、官私の學校は殆ど隨意に學科課目を定めて、殆ど隨意の教育を施しつゝありし也。外國宣教師の設立經營にかゝる宗教學校は猶更に一種の治外法權を保有したりければ、其施す所の教育は宗教を傳播するに重きを措き、有用の人物を養成するの點に於て多少の遺憾なきを得ざりしも無理ならず、さはれ善良なる官立公立の學校に乏しかりし當時に於て、此等宗教學校の存在は其缺乏を滿たし、朝鮮子弟の教育を助長するに少なからざる貢獻を爲せしは諒とすべし、宗教學校の功績は吾人も之を認むるを躊躇せず、然かも宗教學校が時勢の進歩と朝鮮の政治的推移とを顧慮する所なく、舊に依りて其教育の方法を改むるなくんば、時代と國家の要求する人物を養成する能はざるのみか、却つて人の子を賊ふに至るべし。朝鮮は今や我大日本帝國の一部分にして、朝鮮人は陛下の臣民なれば、彼等に施すべき教育は當然帝國の臣民に應はしきものならざるべからず。朝鮮教育令が制定され、教育と宗教とが分離さるゝに至りしはこれが爲なるは言ふ迄もなき所。されば宗教學校にして眞に朝鮮人の幸福を增進し、其向上進歩を目的とするならば、一日も速に其組織を改め、朝鮮教育令に遵據して、朝鮮の子弟を教育するを以て利益とす。是誠に睹易き道理。然るに今猶ほ之を爲すを躊躇する宗教學校の多きは吾人の怪訝に堪へざる所なる也。思ふに習慣は去り難く久しき因襲に因へられて、其束縛より脫し難く、未練もあり、愚痴もありて然るものなるべし。されど早晩其組織を改めざるべからざる日の來るなれば、何ぞ一大勇猛心を起して、速に之を改めざる。監理教會の經營せる培材學堂は茲に見る所あり、今回其組織を改めて高等普通學校となし、一に教育令に遵據して、其學生を指導するに決したりと聞く。これ誠に賢明なる處置にして、吾人が同校の利益の爲め又朝鮮教育の進歩の爲め、大に慶祝する所。何となればこれが爲めに同校は益々盛運に向ふべく、同校の例は他の宗教學校の漸次に倣ふ所となるを信ずれば也。吾人はハリス監督、中校長、其他同校職員諸氏の勇斷を諒とし、他の宗教學校當局者の一日も速に同樣の處置に出づるを希望す

大正四年朝鮮 經濟狀況

總督府理財課の調査に係る大正四年中の朝鮮經濟狀況左の如し

年來貿易の趨勢は極めて順調なりしも、米價は昨秋の豐穰と内地相場の不味を受け低落に低落を累ね殆んど底止する所なき狀況にして、今春に入り一時調節策の爲め好氣配を呈し、且つ日支交渉問題切迫の當時は多少米界を刺戟したるも依然低落の趨勢を改めず、八九月の交は玄米石七圓を唱へ、實に其底値に達したり、從つて地方購買力を減殺し一般物資の荷動萎縮し商況の沈靜甚しく此間軍需品の關係にて牛皮及牛產製品の取引は多少市場を賑はしたるも沮喪したる人氣は容易に恢復するに至らざりき、然るに九月に入り京城に共進會の開催あり相踵で曠古の御大典は一般人氣を更新し物資需用の端を開き引續き出穀期に入りて米價調節策及び鐵入不足の聲に内地相場は漸次昂騰し移出倍々盛況を爲し且つ大豆の出廻り亦成盛にして積取船の不足を訴ふるの狀況を呈し、從來疲弊困憊の極にありたる經濟界も茲面目を一新し近年稀に見る好景氣の下に越年したり

△貿易 上の如く本年は端境期迄の一般財界不振を極めたるを以て貨物の輸移入額は五千九百十九萬圓を計上し、前年に比し四百萬圓を減少し、同輸移出額は四千九百四十九萬圓にして同一千五百十萬圓を增加し、輸移入超過額九百七十萬圓なるも金銀の輸移出超過一千九十五萬圓なるを以て差引百二十四萬圓の出超を示し、朝鮮貿易に於て空前の現象を呈せり、而して輸移入品中減少額の著しきものは食糧品にして前年に比し外米二百四十一萬圓、粟三十八萬圓、小麥粉五十五萬圓、鰮魚十三萬圓を減少せり、又輸移出品中增加の重なるものは米穀及軍需品關係の牛皮及革製品にて前年に比し米七百四十萬圓、豆類百十六萬圓、牛皮百九十六萬圓、皮革製品三百二萬圓を增加し其他鑛業界の勃興により金鑛、鐵鑛亦好成績を呈したり、是新政施行以來朝鮮產業界の發展著しく特に朝鮮米の眞價は内外に認識せられたると同時に出穀期に入り穀價の騰貴したる爲め之が移出を促進したるものにして輸移入貿易の減退は主として米及び代用食糧品の輸入減少したるに依れり

△金融 今春來財界の不振上記の如く且つ財政の緊縮並に之に伴ふ政府事業の繰延等に依り企業界は頓に活氣を失ひ、穀價は暴落し一般貨物の荷動少なく市場寂寞を極めたる爲め金融界は上半期を通じて前年來の緩漫の趨勢を改めずして民間預金は逐月增大し、貸出は漸次減少せるを以て、銀行業者は常に遊金の多きに苦しみ遂に七月一日より預金利子に對し引下を斷行したりしも、市況は何等の反響なきを以て九月に入り更に一厘方の利下を斷行せり、降て出穀期に入り米價は漸次昂騰し、輸移出市場の殷賑は買付資金の需用を喚起したるのみならず、御大典及び共進會は大に人氣を引立て金融界は逐日繁忙を加へ、朝鮮銀行券の發行高は十一月以前は最高二千六百萬圓臺に過ぎざりしも同月末に入りては新穀の出廻り倍々激增の爲め、地方金融は著しく緩和し資金の回收も至極順調にして金融狀態は客年と大に其趣を異にし、各種金融機關の民間預金は三千三百三十八萬圓にして前年同期に比し三百三十二萬圓を增加し同貸出は五千五百二十八萬圓にして前年同期に比し三十四萬圓を增加せり、又銀行券の發行高は三千四百三十八萬圓にして前年同期に比し一千二百五十三萬圓の激進を示し掉尾の大活躍を呈したり

極東市場より 獨墺品驅逐策(四)

哈爾賓商業會議所の建議

□露國の商策 獨墺の販路擴張法に關しては略々前述したるが如きも尚少しく彼等の所謂輸入商館なるものゝ職能につき略言せんに該機關は顧客の信用調査、商品目錄の調製、注文取り、手付金の受入、代金支拂條件の協定、顧客の注文を本國に傳達し並に注文品が約束の期を違へず且つ品物の出來が注文通りに正確なるや否や、其他海陸運賃、關稅及び其他の諸掛りに關する調査、貨物到著日子等を顧客に詳細提示するに任り、然るに之に反し極東に於て露國品の見本の如きは市中店頭にある物品の外他に其影を認むることを得ず況んや露國生產家の代表機關の如きものに至つては更に說明を要せず豈露國商策の優劣當に霄壤の差のみと云はんや、かるが故に政治上及び經濟上當然露國の勢力圏内たる北滿洲市場に於て尚且つ我が商勢の不振なること斯の如きは轉た慨嘆に堪へざる所なり

□商品陳列館の必要 商品陳列館内には又通信部並びに仲介部を併置し各其必要に應じ事務に從事せしむるを要す、而して國產品の輸出獎勵は實に國家の重大問題なれば農商務省は之が爲め其部の補助をなし其設立を援助すべきは勿論一方當業會議所も該施設の實現に對し全力を傾注して辭せざるの覺悟を有すと思ふに斯の如き陳列館の開設は一面獨逸人が極東に於ける經營の秘訣たりし所謂輸入商館の職能を行はしむると同時に他方商品に對する需要者の嗜好を考究し以て商品製作上に一大貢獻を齎らすものなるは玆に贅するを俟たずして明なり

□極東市場と商品 露國品如何なる貨物が獨墺兩國品を驅逐し以て將來極東並に北滿市場の牛耳を執るに至るかの問題を攻究するに先だち該市場に於ける貨物を其生產地により二大別せざる可らず即ち一は外國輸入品にして露國に於ては全然製造すること能はざるものと二は露國に於て生產し得べきものとなり、而して前者に於ては固より之を我商品を以て外國品に代用せしむること能はざるが故に其の供給は當然外國に仰がざる可らず、例へば化鉛、アルミニーム並に此等の諸製造品及び染料、藥劑、粉袋等並に電氣機械を始めとし亞鉛、白鐵にして、後者に在ては我露國品を以て同市場に供給するも市場は毫末の痛痒を感ずることなかるべきなり、輸入貨物の代金支拂に關しては露國人は勿論哈爾賓地方在住の支那人或は外國人と雖も露貨留により之を取扱ふべきを以て取引發展上何等の不便を受くることなきなり、唯北滿の一部及び南滿に於ては日支兩貨幣を以て支拂の決濟を行ふものあり、其額大ならざるを以て取引の發達に影響を及ぼす如きものあるを見ず

滿洲移民農村 金州日本村の復活

滿洲の農業移民は風土氣候並に土著の支那人との關係上多くの者の悲觀する所なるが福島前關東都督は是等の群議を排し其の在任中金州大魏家屯に農業移民の計畫を立て都督府當局は其意を體して一昨年山口縣より家族携帶の農民二十餘戶を招致し茲に滿洲に於ける農業移民の端緒を啓き其の農村を愛川村と名づけ

▽滿洲の新日本村 は漸くして建設せられたるも計畫に手落の點ありしと移住農民の多數が虛榮に驅れ堅忍力を缺ぎ空想に走りたる結果豫て報じたる通り其後一戶去り二戶去り不平と失望とを懷いて遂には相率ゐて内地に引揚ぐるもの續出し止まるもの僅に四戶といふ悲むべき狀態に陷り折角の好計畫もこゝに一頓挫を來し世間早くも滿洲新日本村の沒落を傳へ滿洲の農業移民を非觀せる者をして益々其の悲觀を深めしめ此の農業移民の失敗は偶々滿洲農業移民の悲觀說不可能說に裏書きせる結果となりしが都督府當局は頗る之を遺憾とし爾來其の復活に就いて種々苦心する所あり一時は在滿邦人の中より農業に經驗及び趣味を有する者を募り之れに依つて其の缺陷を補はせんとせしも現在滿洲に在る邦人の多くは

▽商工業方面 に活動しつゝある者にて中には農家の子弟もあり都會生活に厭きて再び農業に歸するの希望を有せし偶々志望者あるも思へらく失職不遇の餘り詮方なし農業でも行つて見よう位の者にて趣味も經驗もなき採用の資格を具備せざる人物なれば在滿邦人中よりの募集計畫も亦失敗に終り今の新日本村は愈々沒落の外なしとまで悲觀されしが之を聞ける前都督福島大將は頗る之を遺憾とし例の熱心を以て自己の郷里長野縣の農家に說く所あり其の結果として今回同縣下より農業者二十二名代表者として來滿し直に金州に赴き農村につき實地視察を試み『熱心と忍耐とを以てせば滿洲に農業移民の行へざる道理なし一番奮發して其衝に當るべし』と決心の程を既に當局に打明けたりと云へば失敗せる

▽金州の農業移民 は爰に復活の曙光を呈したるものと謂ふべく前記長野縣農民代表者の決心と共に今春を期し同縣下より選擇に選擇を加へたる精勵の農家十一戶を移住せしむる事となるべく猶ほ福島縣下よりも數戶の農民進んで移住を申込み來るなど一時の悲境に引代へ俄かに好況を呈し來れり、都督府當局の指導監護及び其の保護にして遺漏なくんば今回は滿洲の一角に健實なる新農村を建設する事を得んかとて皆その前途に注意し居れり(大連)

朝鮮短歌會選歌

十一日第一例會席上互選

(二點)

君を離れし我心よたくちづけし抱けどされど燃えぬ淋しさ 秀雄

返し文疾く來るもよしされど又遲れ來てもの思はすもよし 美穗子

わが心いまだ戰にいつるごとすべてをすてゝいとも光れり 廣司

咲くべき戀はもだしぬさまざまに灯ともし頃は靜かに悲しむ 廣司

五六人男集る雨の夜の家の中より淋しきはなし 北星

待たねば來ずとて出でひしさきを君をただ疑ひけん 青水

大鼓あまたあつめて打つ音に似てわが傘に冬の雨降る 芳子

その半ば凍りし胸に暖かき君が心をいま流れ入る 芳子

春雨を舞ひ終へしさき緋扇に歌かきてよと媚びにける娘よ 白路

遠見ゆる柳の梢こんもりと芽ぐむ色にしづ心なし 文泉

物思ひ疲れし心に瞼閉す其の瞬間に淚が湧けり 四花

しみじみとはかなき運命想ふかな仕事終りて默してあれば。をりを灯ともし頃は只なんとなくさみしける生きねばならぬ其悲しさや。をりを

幌輿ゆるやかに柳の村を出てゆく列ものゝしき春の曙 綱村

一句づゝ(五の日十の日會吟)

○草餅をつまみに指の尖れる 鳥堂

○船着屋草餅の日となりぬ 虎耳

○炎上に寺下の草餅屋無きを 目池

京日詩壇

○除夜 高橋空齋

一年如一夢。回首幾悲酸。鏡面新添白。天涯旅雁寒。虛名慚噴嘖。往事付汍瀾。笑酌今宵酒。乾坤醉裏寬。

評曰、直叙胸臆、眞氣流溢

○乙卯除夕 隈部矢山

剔燭龕前坐。奇寒海素幢。佛憐窮後骨。妻典嫁時衣。椽筆非吾有。蓬插買世譏。祭詩三百首。斷愁可傳稀。

評曰、淸苦刻峭、洗剔塵腐

大阪三品 ▲十六日後場 二月限 二七、一〇 二六、八〇

仁川米穀取引所 ▲十六日 大阪前北十三圓八十一錢後寄八

▲後場瓦落す 大阪の引返しを期したり

▲外の大賣物

▲本日の現物界

十六日の四月限 寄付 十四圓七十八錢 引止 十四圓七十一錢

二月限 千九百五十石 三月限 四萬六千六百石 四月限 三萬二千六百石

碧巖錄講話

釋宗演禪師著

發行所 光融館 東京神田駿河臺袋町 振替東京二三一三番 電話本局二九九九番

上下全二册 クロース金文字入美本箱入(上卷五百餘頁)

上卷定價 壹圓五拾錢 郵稅 十二錢

釋宗演禪師著 訂正 無門關講義

本書一度出づるや熱狂的江湖の大歡迎は初版忽ち賣切れ本日再版發行す 大阪屋號

古今禪書の權威たる無門關の講義は本書を措て他に一本も無し眞に天下一品也今回大訂正を施して第五版を發行す 菊版三百頁和裝全一册

定價八拾錢 郵稅八錢

不景氣知らず——に事業を發展せんとする實業家、貸倒れを恐るゝ債權者は來りて此活きた顧問を利用せよ

大審院部長 前廣島控訴院長 馬場愿治先生閱 辯護士法學士 筒井恪堂先生著 修正增補十五版

債權者の活顧問

著者が多年の苦心と其學識の結晶たる本書は全國百餘の新聞雜誌より辯護士の顧問ある如く債權上債務上の諸問題を即決即斷すと激賞せらる

讀んだ其日から實用も出來る一大快著

本書の内容は、地所田畑山林原野家屋工場立木船舶商品衣類家具株券債權手形小切手諸契約證書特許商標等の賃貸賣買貸借質入讓渡に關し有利有効の契約法と貸倒れ豫防法及時效中斷法、不動產所有者信用ある商工者に無低當貸付と取立秘訣、月給取り役人花柳界に信用貸金と貸倒れ豫防法、貸掛代金を迅速に取る秘術手段、不拂證書及不渡り切手約束手形の處分法、恩給年金電話の擔保と貸付法、戶主及借主の死亡失踪と債權の保全策、未成年者禁治產と貸金取立法、連帶人保證人よりの取立妙法、破產者より最先に取る法、債權の讓渡轉貸と取立委任法、讓產爭相續爭の解決法、先取特權、永小作權、地上權の效力と契約法、不法行爲の制裁法、不當利得と法律手續、訴訟の順序法、異議申立、附帶訴訟、缺席裁判、控訴上告、行政裁判、假處分、假差押、强制執行、支拂命令の申請と手續法、假登記、本登記の方法等三百餘項に亘りて法律上と實際上より詳說せられたるものにして卷末に附したる三百餘種の契約證書登記訴訟狀申請書の書式は皆其儘應用し得るもの也、實に本書の如く第一頁より最終頁に至るまで一字一句活用し得る書は他に求めて得難き斯界未曾有の一大快著也

九百頁の大冊一字一句皆活用の出來る文字

▼洋裝函入美本 ▼五千部限り 特價壹圓 定價壹圓參拾錢 送料金拾貳錢

▲東京京橋南鍛冶町 榮文館 振替東京二四八〇〇

第三十七回帝國議會

衆議院（十六日）

十六日は衆議員本會議定例日に非ざるも會期切迫の折柄とて午後一時開會諸般の報告あり此の日珍らしく大隈首相出席せしため議場漸く活氣付き直ちに日程に入る

▲華族世襲財産法律改正案

▽大隈首相

發猶現行法は三十年前の制定に係り今日の實際に適せず依て改正案を提出せりと說明し

▽望月長夫君（國民）

は華族は皇室の藩屏なるに相違なきも人民も國家の藩屏なり然るに人民の世襲財産に何等考慮なきは如何と質したるに之れに對し

▽高橋法制局長官

は人民の財産に關しては他日の研究問題とし差し當り本案を提出せりと答へ

▽高木益太郎君（國民）

は例の長廣舌を振ひて質問を試み同長官の答辯ありて委員附托此の時

▽小久保喜七君（政友）

發言を求め登壇例の登極令違反に關し即位令當日賢所大前の儀に際し岡陸相首相に代り春興殿上に侍せるを難じ何故臨時總理大臣を設けざりしやと詰りて首相の答辯を促し

▽大隈首相

小久保氏の問に對しては既に書面を以て答辯しおきしが事簡單なるも重大なれば誤解を避くるため考慮の上書面にて答辯すべしと答ふるや

▽廣岡宇一郎君（政友）

は議長を呼び此問題に對し質問ありと呼ぶや島田議長は本日は質問日ならざるも本問題に關し特に其問を許したるは問題と人とを制限したるものなるにより許可する能はずと云ふや政友國民兩黨より議長横暴の聲起り議場騷然廣岡君尚ほも發言を求めて止まず此の問題にして發言權を許さずとせば議事進行に付いて發言を求むと云ひしも議長之れを許可せず、時に小川平吉君（政友）は廣岡君の發言を許可すべしと迫り議場復又喧囂を極む議長即ち豫日の院議を繰り返し特に小久保君の應答に限りたるなり若し異議あらば動議を提出されたしと明白に宣告し日程に移るべしとの聲盛んに起る然るに在野黨は木札を叩き床を踏み鳴らし紛擾を極む議長は日程に入るべきを宣し關税定率法中改正案を議題とし政府の說明を爲さしめんとするや清水市太郎君（政友）は議長の宣告に就き發言を求め松島勘次郎君（國民）望月長夫君（國民）松田源治君（政友）等議長席に驅け付け說明の爲め登壇したる加藤大藏省參政官は聲も聞えず立往生したりしが前單に提出理由を說明し委員附托に決し時に野村嘉六君（同志）の動議にて一時休憩（東京特電）

◎英首相と聯合國會議

倫敦來電に據れば首相アスクイス氏は下院に於て歐洲戰亂の政治軍事兩方面に就き協議を爲す爲め聯合國會議を巴里に開會すべき旨發表せり（紐育電報）

◎巴運河附近獲得計畫

米國は巴奈馬運河の兩端附近の土地を更に巴奈馬共和國より獲得し以て双方面の區域を擴張すべしとの議米國陸軍少將ルドワーヅ氏に依りて米國陸軍に提出せられたるが之れ大砲の射程距離の延長に從つて防禦區域をも擴張すべき必要ある爲めなり（華盛頓電報）

◎露軍各所に連捷す

ドヴキンスク前線イルクストに於て激戰行はれ露軍は同處を占領せり露國砲兵はストリツパ河の中流に於て四隻の敵軍飛行機を砲撃したるが一隻は損害を蒙り敵の戰線内に墜落したり露軍は高加索前線に於て砲兵隊の豫行砲撃後强襲を試みエルゼルムの一砲臺を占領し大砲二十餘門及び軍需品を鹵獲し多數の敵兵を捕虜とした（露都電報）

◎佛艦撃沈後報

生存者は唯一名

巴里來電に據れば佛國巡洋艦アミラルチヤルネルの沈沒は確實となれりシリア海岸にて水兵十五名を乘せたる筏を救ひ上げたるに生存者は水兵一人のみ而して其水兵の言ふ所に據れば八日同艦は魚形水雷の襲撃を受け數分間にして沈沒しボートを卸す暇なかりしと（倫敦電報）

◎法相葉山伺候

尾崎法相は近々發表せらるべき恩赦令に基く件に付き上奏御裁可を仰ぐ爲め十六日午前八時葉山御用邸に伺候したり（東京特電）

◎井上交通兵團長

交通兵團長陸軍中將井上仁郎氏は滿洲に於ける陸軍航空演習視察の爲め十六日午前關釜連絡船に搭乘朝鮮を經て滿洲行の途に就けり（下關特電）

◎井上中將釜山發

交通兵團長井上中將は十六日夕釜山著九時三十分發列車にて奉天に向へり（釜山特電）

◎共進會の効果

鮮人視察者の感想

▲畜産に關する感想　平安北道畜牛に比し忠淸南道畜牛の劣れるを見其の改良の要あるを自覺し又は牛皮改良成績顯著なるを看取したることを語れるものあり

▲林業に關する感想　水源涵養の爲め又木材供給の爲め造林の必要なることは一般の感得したる所なり就中營林廠の出品物は彼等の豫想外に出で造林思想は大に啓發せられたる所あるが如し

▲農家の副業に關する感想　養蠶果樹の栽培叺製造等農家の副業に關しても相當自覺する所ありたるが如く就中養蠶に就きては改良蠶種の成績顯著なるを確實に信ずるに至りたるものゝ如し

▲海産業に關する感想　漁業方法の改善進歩及び漁獲物の加工に就き注意したる者少からずと雖も就中輸入鹽の年々高額に上れる比較表及び鹽田模型に依り將來尚ほ天日製鹽の有望なるを語れるものあり

▲機織に關する感想　忠淸南道苧布生産地方より出でたる視察者は特に織物に注意を拂ひ益々品質改良の必要を覺知したるもの、如し、又漢陽學の優秀なるを語り合ひ或は自働織機の新規なるに驚嘆せる者多かりき

▲拓殖に關する感想　拓殖事業に就きては第一項に述べたるが如く水利模型揚水機等に依り其偉大なる農事經營方法に感動し小規模なる拓殖に付き考慮する者往々ありたるが如し

▲工業に關する感想　忠淸南道の工藝物産に乏しきは視察者の一樣に感じたる所なるが如く就中彼の邊僻なる咸鏡南北平安南北四道の比較的工藝品に富めるを目擊し深甚なる感動と覺悟とを喚起したるの觀あり

▲交通運輸通信　鐵道列車鐵橋等鐵道機關の如きものを初めて目擊したる者は驚異の念に驅られ、又電信電話の通信機關は最も彼等の興味を惹起し文明の進歩底止する所なきを想はしめたり

▲臨時恩賜金事業　平素臨時恩賜金の聖旨を拜承せる徒も一度恩賜館に入り其事業の梗概を目睹して今更に聖恩の優渥なるを感じ敬虔の態度を以て巡覽したり

▲教育衛生救恤　新教育の實際的に現はれたる偉大なる成績には尠からず感嘆の聲を放ち就中盲啞者の教育に至りては其方法及び實績に奇異の念を懷くと共に皇恩の無窮なるを感得したるもの、如く子弟をして新教育を受けしむるは父兄の責任なることを自覺し歸來他の父兄にも勸說しつゝあるものあり、然れども衛生に就きては多大なる感想を得ること能はざりしもの、如し

▲其他の感想　嘗て内地を觀光したる者は内地の氣候風土と朝鮮の其れとは甚しく差異あるを以て朝鮮生産品の品質は内地の其れに及ばざる可きことを思ひ居たりしが共進會視察に依りて内地品に比肩す可き程度迄生産品の改良進歩は之を期し得可く畢竟之が優劣如何は當業者の努力如何に在りて氣候風土に關係無きものなることを自覺せり其他工業傳習所東亞煙草會社工場又は水原勸業模範場の視察は工業の振興又は農事の改良を促す可き動機を與へたり（未完）

◎鐵道營業成績

鐵道局一月上旬に於ける營業成績左の如し（△印減少）

▲運輸の部

		前年同旬に比
乘車人員	一四三、七七三人	△二一、一七一人
小手荷物	二三五、〇五二斤	△一四一、一五四斤
貨物噸數	三三、三一九噸	△一一、〇三四噸
客車收入	九〇、二二一圓	二二、二二一圓
貨車收入	九一、三五九圓	△一七、五二一圓
收入總計	一八一、五八〇圓	△一七、三〇一圓
一日一哩平均收入	一八四〇四〇	△一四七九〇

▲倉庫の部

倉庫收入	一〇八四三四〇	△四八四九九〇

▲旅館の部

宿泊人員	一四一八人	一〇四人
收入	九二七〇一七〇	△五一〇六五〇

▲食堂車及喫茶店の部

客數	六十九人	△三七人
收入	七〇四四四〇	五一四七六〇

◎米の群山（三）

中島生

二、堅實の發展

群山が朝鮮十二府の一として將又朝鮮十港の一として今日の殷盛を致したる徑路は寧ろ簡短である。其の發展の歷史は明治三十二年五月一日韓國の勅令によりて開港せられし時より始まる。當時未だ錦江畔の蘆荻に風寒き一孤村人家と云ふも百餘戶に過ぎなかつた。それが開港以來船舶の出入物資の集散日に盛大となるに從ひ、次第に發展して今日の如き市街を成すに至つた。其間星霜僅かに十有七年に過ぎない。群山發展の顚末丈けを茲に叙すれば開港と同時に韓國政府は必要なる官署を此地に設け、我政府は領事分館其他の公署を開き、各國居留地會が組織せられ、日本人の數五百を數ふるに至つて、群山日本民會と稱する自治機關が設けられ、此地方に於ける土地熱農業熱の高まると共に我國の資金が夥しく流入し、日本人の移住が多くなり、時勢の進歩に伴うて領事分館は理事廳に代り、民會は居留民團となり、我が政治上經濟上の勢力が半島に根蔕を固め來るに從うて此附近の沃野には日本人の農場所在に設けられ邦人の集團を隨所に見るに至つた。而して併合の結果諸般の制度變革せられ、新たなる行政制度の下に今の群山府が存在する。

群山發達史を詳しく述べたら隨分興味多い事もあるが茲には略するとして、但だ其の發達の經路を通觀して特筆せざるを得ないのは、過去十七年間に於ける群山の發展が頗る順調であつて、一歩々々堅實に漸進的に進んで來た事である。彼の仁川や鎭南浦の如く戰爭の爲めに突飛に膨脹し又反動で忽ちに退嬰したでもなく、彼の釜山が交通の要衝に當つたが爲めに迅速なる發展を遂げた如き恩惠に浴するでもなく、群山は自己の實力即ち其の背後地商領域の富力に依賴し、單に商港としての立場のみで今日先進諸港の勢力を凌いで米の群山と謳はるゝに至つた事は洵に群山の誇であり光榮であらねばならぬ

◎忠州の黃色煙草

忠淸北道忠州唯一の特産物として中外に名聲を博せる黃色煙草は四年度に於て不良の成績を示し耕作者中怨聲を發する者ありしも當局者の說く所によれば成績不良の主なる原因は收穫期に於ける

▲天候不順に起因　すと雖も亦半面に於ては他の理由あるを發見せりそは一般耕作者が營利に汲々として生製品の過量を以て眼目とし側限以上の耕作乾燥をなし技巧上の注意を忽諸に付せし爲め品質の粗惡を釀せし結果にして本年は前年の經驗に鑑み耕作反別を嚴重に制限し專ら品位の向上に努むべしと謂ふ、本年度の耕作反別は前年と大差なく二百餘町歩にして近日中專賣課忠州出張所長同技師の裁決を俟ちて決定すべきも

▲耕作組合員を增　加せしめ成るべく昨年度に於て不足を告げたる乾燥室の數だけ增設せしむべし、而かも品質の向上を謀る上に於て一乾燥室の乾葉は四百五十貫を標準とし過量の生産を制限して價額の向上を期し耕作者の奮發心を喚起せしむる爲め從來一反歩六圓宛の肥料を無料配付したるも本年度に於ては肥料代を半減して過量の生産を防ぎ專ら品位の向上に努力すべしと謂ふ、肥料代の半減は耕作者議議の上に於て

▲機宜の良策なる　は識者中の等しく是認する所なるが耕作者中には肥料代の半減を以て專賣課の保護放棄の先驅なりと杞憂を懷けるもの無きを保せずと雖も假りに一反歩の生産乾葉を四十五貫と假定せんに一般耕作者が眞面目に專賣課の指導の下に從業し品質の向上に努め一貫五十錢の價格を昂騰せしめんか一反歩につき二十餘圓の增收を爲し得べく肥料代の半減は耕作者は却て痛痒を感ぜざる可し要するに一般耕作者が大局の上に着眼し黃色煙草の眞價を中外に現はすは焦眉の急なるべし

◎仁川の陸運貨物

仁川驛にて一月中の貨物出入は發八千九百五十一噸（局用一千四百六十八噸を含む）著四千五百四十五噸なり今是を前年の同月と比較對照するに發の部に於て千十噸の增加を見著の部に於ては千九百十八噸減少を示せり斯の如く出荷の盛況を見しが各貨物中金巾の如きは本品は多くは英國産にして上海經由品たるが故に銀相場の關係も得べきも本品は多少需要の增加を認め及び思惑買等に依り輸入の增加せるものと認むも又鹽は未だ需要時期に達せずと雖も地方經濟界が舊年末を當て込み早買せし等により增加を示せるものより到著に於ては前年同月と比較數に於て一千九百十八噸の減退を見しが右は全く豫想敷弱に流れ穀物の賣行捗々しからざりしに因る

◎江原畜産協議會

江原道廳にては十八日より二十三日まで畜産技術員協議會並に農産業技術員協議會を開催の筈なるが總督府よりは中村技師臨席す可し

◎大阪より

▲職工七萬人缺乏

關西に於ける工業熱は漸次著しく進展し來らんとし今や全企業資本は約一億圓に達せんとするが工業の原動力なる職工と資本の對照は普通工業者にありては資本金一千圓につき一人化學工業者にありては資本金二千圓につき一人の割合なるが之れを平均資本金一千五百圓に對して一人とせば資本金一億圓に對する職工は即ち七萬人を要することゝなるが官立工場の如き職工の技能如何を問はず民間工場にては相當技能を有するものを使役せざるべきに現今の如き職工爭奪の場合に於て七萬人の補充は如何にするかは目下の重大問題として何れも業家にありても何等此問題に懸念することなく徒らに工業熱に浮かされ居るやの觀ありて將來のため大に憂慮す可きものありとて大阪工業界にては企業家の覺醒を促さんと講究中にありと

▲電球界の福音　藤田組の鐵合金試驗場にて研究中の電球原料製作は好結果を得たるを以て愈々兩三日前より實出したるが製品はフェロクローム（鎔素鐵）フェロタングステン（重石鐵）フェロモリブデン（輝水鉛鐵）にて之等は從來輸入品のみにて本邦にて製産するものなかりしが之を以て嚆矢となし電球界に至大の便益を爲すこととなりたり（大阪支局）

◎水道巡視試驗　京畿道水道係にては今回水道巡視係五名の昇級試驗を行ふことゝなり十五日朝鮮語の試驗を施行せり

人事消息

▲八島明氏（淸津土木出張所長）十六日夕入京南尾旅館へ
▲山本好造氏（咸南農銀支配人）十六日歸任

南北語

噓か眞實か知らぬが袁總統は四川に於ける南北兩軍の決戰の結果によつて若し北軍が敗北したら帝政廢止の宣言をすると云ふ話が北京邊にあるらしい▲狸の云ふ事だから浮かりするとバカされるがあるとすればある丈けとして聞いて置ても好い▲南軍の方では四川を勢力範圍に收めた以上は袁總統が縱し帝政を中止しても決して聞かない恐れ入れば大總統の地位を退いて妥協でも申込むが好いと若い者共は鼻息が荒い▲妥協の一段先けになれば日本には妥協に妙を得た先生方が澤山居るから何時でも拜借に來るが好い▲袁總統も大政治家だが壇飾の政論を云ふ事を知るまいイヤ之れは近頃日本で發明されたものだから支那にはないかも知れぬ▲其の妙を得て居ればこう〳〵革命軍を恐れるにも及ばぬのだらう▲マア一二年大總統を罷めて日本に勉强しに來ては何うだ其れなら何時の間にか上皇にもなれるよ▲此頃の議會で大分皮肉や駄問や賢問で弱らされて居るのは武富藏相だが此處が腕の切處だから致方もあるまい▲其れから首相の鐵拳とアルンであるが飛び出したら議會も一層賑ふだらう何うしても議會は大隈さんに限る樣に思はるゝ▲大隈伯と云へば現内閣の諸公は何うも雅趣に乏しい人許りだ▲其の中で先づ尾崎愕堂君許りが所謂英雄閑日月で古詩も作れば和歌も讀む▲近來の大宰相を見渡すに西園寺侯は例外として桂公は雅山人と稱して書も書けば歌もやつた▲山本權兵衛伯も鶴堂と稱して書を書いたが大隈伯と來ては此の途には全く沒交渉である▲其處で隈伯は何にもやらない代りに口は先づ五人前以上だとは人間も能く出來たものだ▲貴族院の仲小路氏が妥協案に反對し交友倶樂部と提攜して大にやると云つた時其の述懐に曰く▲起請誓紙は交さねど去年の五月の木下闇、言ひ交したる仲ぢやもの、今更何で變られよう、死出の旅路も手を引いて……は振るつて居る

監修 巖谷小波先生
幼年諸君に最も好まれる理想的繪雜誌
幼年畫報
三月號出來
定價各金十錢 郵税一錢
東京本町 博文館
尋常小學生に最も歡迎せらるゝ良雜誌
幼年世界

明治大學 學生募集
◎法科大學豫科 ◎商科大學豫科 ◎政治科大學豫科 ◎經濟科大學豫科
大學豫科は各科大學に入る豫備門なり
◎第一學期授業來る四月八日開始
◎中學卒業者は無試驗入學其他は四月一日試驗
◎中學卒業及び同程度の學校卒業者は別科へ入學を許す
◎學則は武錢郵券添付申込の事
東京駿河臺 明治大學教務課

明治高等豫備校 學生募集
高等學校、高等工業學校、專門學校入學受驗者の爲め特別なる準備教育を施す
◎新學期來る四月六日開始入學は可成始業前日迄に申出でらるべし
▲又當校教授の係纂に編まれたる商業豫備講義錄前年度分は來る三月完結に付志望者は至急申込まれたし
學則は武錢郵券添付申込の事
明治大學内 高等豫備校學務課

顧問高島平三郎先生
コドモ
三月號出來
まじめで平易で教育的で見ても讀んでも面白い繪雜誌
東京小石川林町 コドモ社
定價一冊十錢 六冊五十五錢 十二冊一圓四錢

幼年雜誌 良友
尋常小學生徒の最も好い讀物
最寄書店に無くば本社へ申込あれ

京城旭町一丁目（鈴木醫院跡）
内科 小兒科 小林醫院
入院隨意（普通病室並に隔離病室）
醫學士 小林千壽
電話六九二番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
振替貯金口座 京城三三三番
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

にして支那累計一萬六千三百…九萬一千五百十五石なりしが合格…此外の殘高は仁川釜山の貿易業者を一掃…追跡し遂に仁寺洞にて引捕へ（内地人發見）

●蒲團諸共に　全南生れ住所…山分隊に…渡され取調べの上檢事局…

●伊勢參宮計畫　釜山商業…

●松茸か　京城黃金町三丁目六十九番地李容教方に堆積しある松…られたり

滿州大飛行特電

第五電（十六日午後零時十七分）特派員 勝村長平發

▲報告筒機體の鐵線に懸垂す　兩機交々部隊の行進を發見す

耐寒大飛行の第三日たる十六日は天氣晴朗、氣温零下十四度、風速七米突を示す、鐵嶺よりの南下軍

■偵察の爲め

第二十六號機は午前伊庭中尉操縱弘中中佐偵察同乘の下に九時十一分練兵場を離陸し、第十六號機は川上中尉操縱岡大尉偵察の爲同乘し九時十七分離陸し第十六號機は田庄臺北方土崗子にて南下軍一個大隊を發見して引返し、十時三十六分着陸、場に歸り第廿六號機は土崗子附近にて敵兵七個中隊を發見し數回偵察の上報告筒を投下せんとしたるに報告筒は機體の車輪の線に卷き付きたるを以て止むを得ず着陸して取除き再び飛揚し、十一時三十五分歸著す、第十六號機の

■最高高度

度に六百米突、第廿六號機は一千二百米突の高空を飛行し寒氣の爲めに寒暖計は零下十四度にて凍結したりと

■遼陽訪問（十六日午後五時四十五分發）

午後氣温零下七度風速南六米突中澤中尉第十六號機に澤田中尉は第二十六號機に搭乘遼陽訪問飛行を爲し同地に於て飛行機に關する講話を試み午後四時三十分二機相前後して歸著せりカーチス式百馬力第二十四號機は機械に故障を生じて飛行する事を得ず十七日第二十六號機及び第十六號機は附屬地附近及び撫順方面を訪問すべしと此の日觀覽者頗る多し

●ハリス博士先づ範を示す　培材學堂新組織　入學志願者倍加

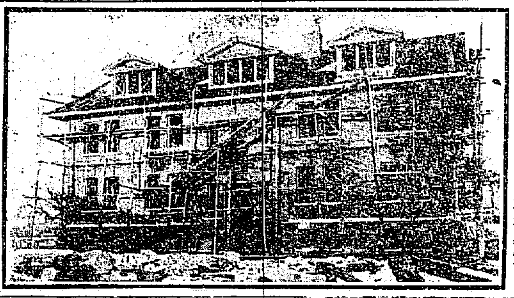
府内貞洞の私立宗教學校培材學堂は這回其の組織を革めて總督府指定通りの學制に從ひ公立高等普通學校と同一の學校になつた、この事は實に朝鮮内に

▲數多き私立宗教學校

として空前の大英斷と云ふべき事で昨年總督府から發布した朝鮮私立學校令によれば總ての私立宗教學校は今後向ふ十個年間は從前のまゝで經營され得る筈である、然るに這回培材學堂監督ハリス博士と校長申興雨氏が大英斷で以て總督府の學制通りに改革したといふ事は實に朝鮮教育界に一時代を劃するものといふべきである、元來此の學校は今から三十年以前米人アンペンザラー氏の設立した宗教學校で其の後大正三年に至り中學本科及び師範科を設け總督府の認可を受けた者で卒業生は主として

▲學校職員銀行會社員

傳道等に從事したものである、而して同校の監督は明治六年以來わが國に渡來し爾來布哇及び北米太平洋岸の邦人の爲めに熱誠なる盡力を吝まなかつた米國人ハリス博士である、這回培材學堂の改革に就いては二月十日附總督府から許可があり猶ほ寺内總督は特に同校の爲めに金一千圓を贈つたのであるがハリス博士を補



新に發展せんとする培材學堂

佐した同校々長申興雨氏も與つて大に努めたものである、博士の談に曰く『這回本校の程度を高めて純然たる宗教學校から總督府の公立學校に等しきものと改めた事は本校の

▲進歩發展の第一歩と

して大に悦ぶ所である、元來此の學校が宗教の布教の爲めに設立された趣旨から云へば全然宗教の目的以外に學制を改めるといふ事は如何かとも思ふが然し一般鮮人の教育の爲めに此の學校を開放するといふ事はこれも亦國家の爲めに盡くし同時に鮮人一般の幸福を圖るに他ならぬと思ふ、それで從來は主として基督教信者の子弟のみを入學させたものであるけれ共これからは誰れでも入學を許可する、そして宗教的禮拜は學校内でやらず總て學校以外の場所で教授時間以外に行ふ筈である又本校が這回かゝる大改革を施した事は總督府には悦ばれても

▲一般宗教の人々に

は如何なる感じを有たせたかと此の邊の事も心配せんでもなかつたが一般朝鮮の牧師や宣教師を始め生徒の父兄達も非常に喜むで居て何等の反對も不同意も見出さぬ、殊に生徒は公立の普通學校同樣の教育を施す爲めに本年からは約二倍に增加するであらうと思ふ、そして一般他の宗教學校も大に本校の改革に倣ひたいと云て居るから大に成功であつた』と

●空米相場　又々卅名の檢擧

『宮舘本町署長の意見』

京城では以前から空米相場をやつて其弊が尠くなかつた、昨年の夏頃本町署では空米師に大斧鉞を加へ一大革正を行つたが尚一部の殘留者が最近例の空米

▲相場に花を　咲かせ弊害の停止する所を知らずといふ模樣になつたから又復空米師大檢擧の斷行を見るに至つた、約三十名の内鮮人が本町署に檢擧され取調べを受けた而して事件は京城地方法院檢事局へ送致された、右に付き宮舘本町署長の談を聞くに元來期米取引所なるものは果して期米の公定相場を正確に作り出し得るものなるやは頗る疑問である、且つ之に伴ふ賭博的の弊害を最少限度に減少し得るやも研究すべき問題であるが一體取引所は農工商部の主管する所で

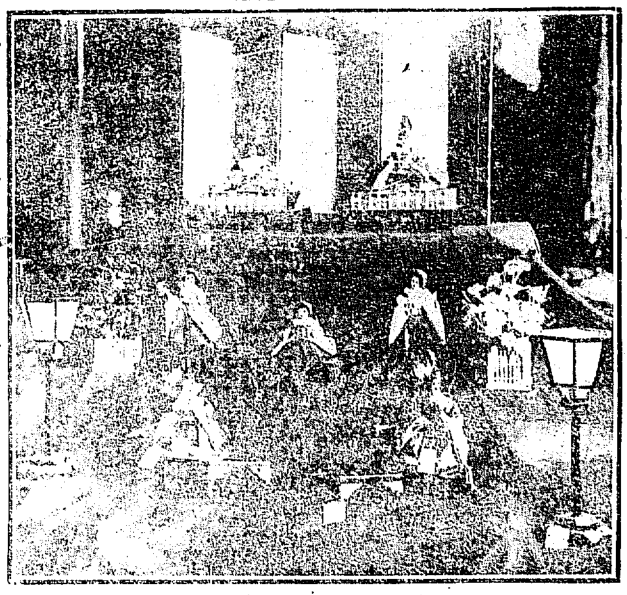
▲警察の容喙

し得る範圍でないが尠くとも期米の取引に伴ふ弊害は近時著しき傾向あるは事實である、而も其の弊を有爲なる方面に善用してつなぎ●●等に利用するよりも却つて空米のみの合百或は現場●●等に惡用されてゐるものが多い京城に於て取引する空米業者は昨年の夏大檢擧以前迄には頗る大袈裟の遣方であつたが、其後一時恐慌を來し稍消沈してゐたけれども又々

▲最近に至り　復活的にやり出した取調べて見ると客筋の内朝鮮人は一部少數者の外は期米の取引なるもの、性質を知らず、當單に賭博をやると同樣の氣分で行つてゐる者が多い、而も内地人に比較して射倖心の強い朝鮮人等の是等に感染するやうな傾向は傳房取締の必要がある。尚朝鮮に於ては目下取引所法なるものが敷かれてゐない爲め、内地の取引所法に準じて取締りの關百してゐるのであるが取引所の所在地以外で

▲仲買人等の　營業することは不可能なことになつてゐる、然るに京城に事務所、出張所は勿論相場通信部、相場入電所の如きものを置いてあるが是等のものは實際に於ては期米の取引に變じ易い傾向がある而して是等のものは取締の方法にも最も嚴重なる可きもので風紀の矯正上から見ても將來根絶すべきものであると思ふ云々

今年のお雛さま　とりどりの新らしさ



一方御大典記念の新らしい

■雛人形　さへ出來たので例年でも雛人形には可なり深い興味を有つてる家庭の多い京城では今年は素晴しく景氣がいゝ樣だ

■今年の　新傾向と言へば人形では五節舞、有職式の蓬萊親王、蹴鞠、御慶事雛等である、是等はす

●新らしい雛　御大典記念の新趣向のかずく

東風に甦らせる白酒の旗が市中に長閑な春らしい趣を添へて優に美しい

■雛祭が　近づいた、三越出張所が例年の通り東京の本店から引いた各種の人形を十日から店内に陳列したのを始めとして

■本町筋　の玩具店の硝子窓は美しい雛人形で飾られてゐる、御大典の後を受けた今年は一般に

■國民が　衣冠束帶の姿に親しみを持つやうになつたので更に一層之れを愛玩する樣になつた傾きもあり

て上邊にゐるものばかりだが

■京城で　は普通物より比較的上等な物が賣れる、東京では人形道樂の人達に喜ばれる古い木彫人形が今年も大分流行つてゐる樣だが京城では未だ木彫人形の

■趣味が　一般に傳はらず三越邊りにも來てゐない樣だ、その値段は御殿物で親王官女が一圓四十錢位から仕丁、隨身が一圓二十錢位以上五人囃子、お雛樣が二圓五十錢から町家風で小町、高砂が一圓位から二人小町、龍神が二圓位から等である

●本夫殺し公判

京城太平通二丁目居住の江口きしの本夫毒殺事件第一回公判は十六日午後一時より京城地方法院に於て塚原裁判長石村有澤兩判事陪席園部書記の係り水野檢事の立會朝倉辯護士の辯護にて開廷されしが傍聽者多數なりし

●偽證を教唆す

鹿兒島市柳町生れ當時慶北大邱本町一丁目時計商木村三四郎（四三）宮崎縣北諸縣郡都城町當時大邱本町二丁目穀物商兒玉伊太郎（五二）兩名は鑛山の紛爭に關し大邱地方法院にて民事裁判の辯論をなすに當り大中政五郎なる者を教唆し自分等の有利なる樣偽證をなさしめたるものにして偽證教唆罪に依り大邱地方法院に於て有罪の判決となり之に服せず大邱覆審法院に控訴したるに尚有罪と決し高等法院に上告したるも同法院より京城覆審法院に事件の移送となり其判決の結果兩名共各懲役八箇月の處分となりたり

●事務員の奸策

京城瑞麟洞北島法律事務所雇事務員崔永熙（二〇）は咸南定平郡歸林面の徐禹範の妻で妓女なるものが夫と離婚の訴訟を提起せんとするに當り崔永熙は何もなき大風呂敷を擴げ訴訟代理業明元山に出張中なりし際同人は納に法學士權永熙なる名刺を示して右の訴訟を引受け金品を詐取し或は馳走を受け何喰ぬ顔にて京城に歸還し居れる間右の惡事露れ鍾路署の手に逮捕され身柄は元山へ送致されたり

●妙心寺觀音講　十七日午後一時より觀音講を…

妓生になるまで

（三）一瞥一萬金　傾乎洛陽の美姫

陋思なる風習に由つて操を弄ばれた少女は、何んの選ひも悲しみもなく却つて成女として厠語に誇り其處の遊宴後庭の酒席に呼ばれて嬌態を示して其の酒宴を賑はし、ただ衆人の眉が美貌を賞讃するのを聞かんとするのみである

□古昔の紳士はたゞ妓生の聲のやかにして男心を徒らに惑はしむるを嫌ひ…

へ人買を四方に使はし新たに美なる者を地方に漁つて猶國色なきを憂ひたのである、而して美女は三四百圓韓貨に換算して一萬五千兩乃至二萬兩の價を以て賣買が行はれた、故に其兩親が一朝にして萬以上の資財を得る事になる、以て

□男なせむな重ぜず女な…

解し得るではあるまいか、美女を漁る人買の眼に映じた女は其の親權者にこれを協約して直ちに女は京城へ伴はれて行くのである、斯うして京城に伴れられて來た女は大宮當籤又は宮中の春房使令又は大殿別監等の妾として抱へられる、選拔されて來た女等は美は美なりと雖も何れもまだ田舍臭きを免れない、茲に於て彼等は進んで各種の歌舞音曲、綸讀等の修業より對人、應接、禮法、進止作法等に至るまで修得して茲に初めて洛陽の妓生として一人前になるのである、而して其尤なるものは

□選ばれて宮中に奉仕し所謂宮妓となりて其の選に洩れたる者は單に妓として發はるゝか又は純なる賣笑の徒に墮落するのである官妓と稱して宮中に奉仕する者は多くは春房使令とか大殿別監とか云ふ官吏の妾となり當番を定めて隔旬に宮中に奉仕して藥房に屬するものは王族朝夕の御用藥の調進を勉めとし尙房に屬する者は王族の御召衣の裁縫に從事し非番の間は妾宅に在つて夫に仕へ兩親兄弟親族等と生活を共にして居る者もある、官妓の中には斯くの如き徑路を取つて宮中に入つた者と又別に宮中に

緒のお稽古　正午過ぎの光線が淡く温突に流れて……

の外は何物もない、斯くして彼等は玉の輿の迎ひの來る事を一日千秋の思ひで待つて居るのである、玉の輿の迎ひとは何んであるか、それは京城から妾として抱へに來る人買の己れを見逃さぬらん事である併合以前までの京城は實は淫風すさまじく吹き荒む巷であつた、大官富豪は數名若くは十數名の姿を蓄へ時々之を代

□大饗宴の催せらるゝ時に侍宴の爲めに各地方へ美人を求める時、地方官の選拔に出つて入内する者も有るが、其れは單に入内までの徑路を異にすると云ふのみであつて饗宴後に於て宮中に奉仕する勤務、及び其の生活が官人の妾である事は買はれて來た他の妓生と聊かも異つて居る所はない。

京日案内

普通（一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増）

▲男女外務員募集　希望者は履歷書携帶來談　商業銀行債券部　京城太平通二丁目　電話二八三一　377

●雇入　年齡十七八歲の店員二名至急入用希望者來談　新龍山三角地娛樂園角電話四九番　島田金物商店　366

●譲店　目下好況收入多き京釜線所在料理店歸國に付き至急格安讓ル　▼極力御便利可計候　▲（姓名在社）　362

●外交員採用　年齡廿五歲以上希望者履歷書携帶來談○京城本町二　大正生命保險株式會社京城支部　344

●乳母入用　身體强健のもの至急雇入れたし望みの方は本人來談あれ　仁川仲町二丁目　共榮社　380

●古本　品揃底に付無比高價買入れ　御一報次第即刻參上　▲京城本町四　電話二七八一番へ　書肆群書堂　315

●貸家　別莊又は官吏向に適當な家屋あり居拔の儘御相談に應ず　大和町二丁目六四　山口大助　374

番外（一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増）

賣地　南大門通り漢湖農工銀行隣三十坪餘　望の御方は　黃金町二丁目（電話一〇一五番）　喜多金光堂　383

質商　▲移轉廣告（元伊佐に）弊店は秘密を守り親切丁寧を旨とし御客樣の便利を計り申候　櫻井町一丁目大正館北横丁　黃金町と櫻井町角南入る　東屋　382

店員入用　年齡十六七歲にて身體强壯市内に確實保證人を要す本人來談あれ　○京城本町四丁目　○米穀商○質屋業　▲佐野屋　381

姙婦産婦　御預　致升　▲經驗僅少出産安全出來　申込次第入院　南山町二の卅五　京城産養院　電話取次一三九　299

質　京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）　堀佐營業所　電話六三九番　313

恩給　年金類低利長期立換短期　不及便法あり其他擔保信用貸仕候　○御成　京城南大門町外　山口屋　338

●二月十五日より　○東京玩具・雛と人形外一切の玩具　大安賣　○地方は御注文次第送附す　○京城本町二丁目（寺館前）　▲佐藤玩具店　373

新刊書御案内　大阪屋號書店　京城本町電話一〇八六番　振替京城二五七三

書名	著者	定價
●商業電信	根岸茂一	一八〇
●支那論	市村瓚次郎	一二〇
●英文法新語名詞篇	吉田熊次郎	三五
●英文法新語代名詞篇		三五
●和英社交用文集	小川小久保	八五
●初學作詩法	平川磐雲	七〇
●學生の友	芳賀矢一	一〇〇
●東京白話青學案内	森泉南	三八
●基督教神髓	貫永徳磨	八〇
●禪の一夕話	林大狂居士	九五
●日常生活の化學	宮永齊	五〇
●古川柳新調誌廣告	南城寺貢	五〇
●初心獨習將棋速成法	關根金次郎	三〇
●日蓮	村上浪六	七〇
●從軍三年小說大敵	瀧川寺郎	一三〇
●ビヂネス日記	佐藤明・備	三〇
●神人の爲めに	岡田松太郎	一〇〇
●春のゆくへ	長田幹彥	三五
●碧梧桐句集	大須賀乙字選	六〇
●彩雲文集	大町桂月外	七〇
●大正五年最近朝鮮事情要覽		六〇

酒煙草きらいになる藥　禁酒丸　禁煙液　どんな酒煙草のみでも害なく必ずきらいになる　郵券貳錢送れば說明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈　其他名士の　大阪市靱南通二　森田商店本舖

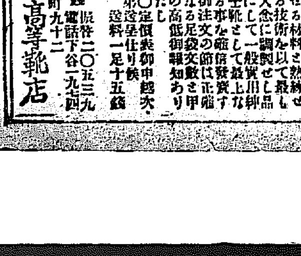
種苗　目錄申込次第進呈　▲朝鮮の農家は寒地なる弊園の種子を用よ　▲寒地の種子は早熟强健豊産なる大特色あり　▲弊園は世界に於ける各種の最新種を育成す

弘前市取上田町　北日本農園　振替東京二〇三六九

販賣者募集　ゴム製手遊び、サック各種、希望者至急特約店申込あれ●東京本郷根津片町●島谷商店

瀬戸皮膚科外科醫院　旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀬戸潔　（電話二四九八番）　診察夜九時まで

東洋ボックス製編上靴　第一號　金壹圓九拾錢均一　第二號　金貳圓五拾錢均一
編上及一枚皮深ゴム靴　第三號　金貳圓八拾錢均一　第三號特別製　金參圓五拾錢均一
ボックスカーフ製編上靴及深ゴム靴　金四圓均一
但一枚皮深ゴム靴皮底形編上靴　金五拾錢增
東洋ボックス製長靴　長サ一尺一寸　金四圓八拾錢均一　同　一尺三寸　金五圓參拾錢均一
右の均一靴は精選せる材料を熟練なる技術を以て製し最も念入に調製せし品にして實用向最上の紳士靴として確實なる御注文の節は正確なる足袋文數を御知らせ有之度　○定價表御申越次第送呈　○送料一足十五錢



引換廿五錢　鮮滿臺は廿五錢引換四十五錢　東京市本郷區東片町九十二　振替二〇五三九　電話下谷一九四　三倉商會高等靴店

千生瓢 (126)

須藤南翠作　筒井年峰畫

杜鵑一聲(六)

勝家は悠然として、既に心の決せる色を示した。

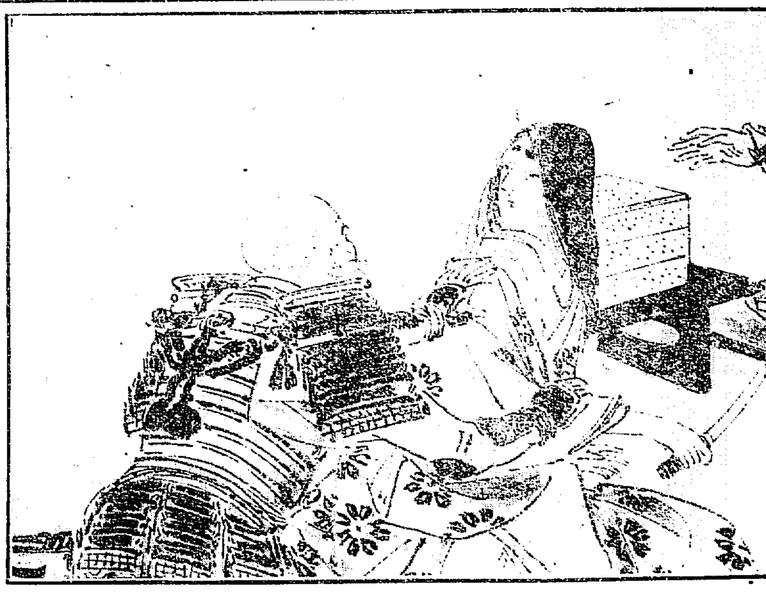
『お市殿は吾が妻ながら、筑前とても、よも敵意は挾さむまい。然るべき郎等に供させて、三人の姫諸共に筑前が陣所に遣はさうと存ずる。其方も共々語を添へてくりやれ』

『御落去を御勸め申し上ぐる事、及ばずながら文荷齋、心得申しておざりまする』と文荷齋は深く之れを懌んだ

やがて奥殿に至ると、小谷の方は酒肴の準備をして、疾うに待ち受けて居られた。勝家は欣然として杯を擧げた、先づ快く三獻を過して、其杯を小谷の方に獻した。小谷の方は受けて、蕭しやかに唇をつけ、更に之を勝家に酬した。

勝家は妾の佐野に酌させて、大杯を啣みながら、小谷の方を觀て

『いかにお市殿、老行く末の介錯を煩まうと存じつるが、此城の運命もはや一兩日に迫つておざる。思ひの外に、短かい契りでおぢやつたのう』と言つた。



小谷の方は一目勝家を仰ぎ視たまゝ、玉なす涙を抑へて、深く俛首れて居る。

『勝家が老軀は、故殿の公達に獻つて、城とゝもに兎も角もならうずるが、卿は故右大臣殿の御妹、萬松寺殿の姫君おざる。縱令故殿の仰せにて勝家が室になるゝとも、筑前守主從の寄縁を忘れず。必ず卿を守護し參らする事と存ずる。されば敵内廓に混み入らぬうち、疾う／＼城を出て、筑前が本陣に、御供させ申さう。別離の杯、相濟む上は、三人の姫逹にも用意させ、卿も急ぎ御支度なさせられい』と申し出して、其杯を文荷齋に與へた。

小谷の方は堰きあへぬ涙を、綾の袂に押し包んで、

『是れはまた存じも寄らぬ、御情けなき御諚を承はり侍るものかな。殿も知し召し、世の人も皆知つたる如く、我身淺井の家に嫁ぎ、備前守長政に相馴れて、三人の姫をさへ儲けつる間おざつたが、兄上不慮の軍を起され備前守殿を攻め亡し給ふに依つて、我が身も同じ枕にと存じたなれど、其さへ兄上の爲に支へられ、幼き姫逹にも心引かれて、阿容々々として岐阜の城に引き取られた事、世を代へても報ひ難い憾みおざつた。故右大臣が慈しみ、御身樣深き情に縛されて、北之庄に移つてよりは、假令如何なる事のあらうとも、再び此城出でまじと、深く思ひ極めておざる。余は城諸共に自害して相果つる、汝もじも二世の契りなれば、倶に死ねよとは仰せられず、筑前が方へ移れよとは、日來の御情にも似ぬ如何に邪慳の御仰せおざりまする。我身何の面あつて、再び世の人に見えられませうや。左樣に難面き御心ならば、我身御先を仕る。姫逹が上は、よしなに計らせられい。さらば御免し』と言ひあへず、錦の袋の紐解き捨てゝ、戒刀すらりと拔き放ち既に斯うよと見えたのであつた。

勝家は手を伸して戒刀を捥ぎ放した。佐野は驅け寄つて、小谷の方を介抱した。

『夫人の仰せ承はつては、この文荷齋も道理に責められ申して、御落去を御勸め申し上ぐる、語さてはおざりませぬ。殿、思ひや御心を鬼にして、冥土黄泉までも、御手を取つて其盛らせらるゝ外おざりますまい。其が却つて佛性おざりまする』

文荷齋は汎ふが如き涕涙の面を擡げて、勝家を説き勸める。勝家も戒刀を目戍りながら、

『如何にも筑前が方に迯らうと存じたは、勝家が思ひ過しでおざつたよ。後の世までもと申さるゝ、お市殿の志しは、世にも嬉しう存じ申す。去りながら、三人の姫逹は、正しく勝家が子と申すではなし。故長政殿の遺兒と申す事は、誰々も知る事おざる。切めては是だけでも、聞(?)、お市殿』と、餘儀なげに申し出た。

東京共角堂園一宗匠選

九十會第一回選句

神苑に輝く霜の灯哉　抱月
陣營の文銃冷たき霜夜哉　細月
小春日や縁に持出す糊仕事　孤舟
乞食の風な捨る小春哉　露葦
麥蒔の畑走る鼬の子　抱月
麥蒔の畔に茶を煮る眞菰哉　三翠
離れては飛び直すや鶺鴒二つ　抱月
鶺鴒や深き契りな水の中　天溪
馬槃ぐ脊にふりかゝる落葉哉　楓亭
町中へ風のもて來る落葉哉　保々

三光

人　遠の鋭立てはしる落葉哉　和田
地　小春日や病餘の人の庭歩行　鳥石
天　鶺鴒二つ麥畷き浮寢哉　和山

新刊紹介

▲増補新撰歳事記　今井柏浦編俳諧に遊ぶ人、歳事記の必要なるは言ふ迄もないが此種の類書も澤山あるので一寸惑ふ人もあるであらうが最も世間に行はれて居るのは今井柏浦氏の歳事記である其編纂が如何にも氣が利いて斯道研究者の爲めに便利よく出來ている今全部を改版して大増補をなし並に第十二版を出した就て見るに殆んど遺憾なき迄に立派のものになつた俳道に志ある人には是非一本を薦むるに吝ならぬ（東京博文館發行定價九十錢）

▲茶業界（二月號）（十錢）靜岡市紺手町其社

▲日本青年（二月號）（十五錢）東京東大久保國民實業戦界

▲現代通報（二月號）（十錢）東京麻布新堀町其社

▲月刊樂譜（二月號）（七錢）東京銀座四丁目樂器店

▲石油時報（二月號）（六錢五厘）東京麴町區有樂町一其社

▲旅行世界（二月號）（十錢）東京本所新小梅町三其社

▲英語倶樂部（二月號）（十錢）東京小石川高田豐川町其社

▲日本警察新聞（三五八號）（五錢）東京芝愛宕町二其社

▲ジャパンタイムス『學生號』（五の十二）（十錢）東京日比谷公園其社

▲新國民（二月號）（十五錢）東京神田駿河臺袋町大日本國民中學會

▲養鷄と園藝（第三卷第二號）（定價十二錢）大阪市東區原町百〇二番地養鷄園藝社

▲農事新報（第十卷第二號）（定價六錢）東京淀橋農事新報社

▲病蟲害雜誌（第三卷第二號）（定價十五錢）東京小石川原町十二番地日本植物愛護會

▲人格と幸福（第四卷第二號）（定價五錢）京都市祇園萬壽小路東山通西入明治修養會

▲養蜂倶樂部（三週年記念號）（定價拾錢）[illegible]

▲常磐木（二月號）（定價十錢）東京小石川區東青柳町二十九大日本常磐會

▲婦人週報（第二卷第七號）（定價五錢）東京牛込區市ケ谷田町二十七

▲銃獵界（十二卷二號）（定價十二錢）横濱市本町二丁目二十一番地金丸銃砲店

▲通俗家庭衛生新報（第十三年第七十四號）[illegible]

▲紙之世界（第八十八號）東京小石川區西原町二丁目十一番地其社發行（定價金五錢）

▲陽明（第九卷第一號）大阪府東成郡天王寺村天王寺二〇八六番地[illegible]

▲朝鮮の少年（一の二）[illegible]

▲世界の日本（二月號）[illegible]（十五錢）東京小石川其社

▲新聞講義録　會員一覽を要する者は郵券二錢封入申込めば送附すと（東京牛込大日本新聞學會）

▲新選歳時記（今井柏浦編）[illegible]

▲ローマ字（二月號）[illegible]

▲フースヒー（十四）定價金五錢[illegible]

▲家庭のローマ字（二の二）ローマ字の別冊[illegible]東京麴町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會

▲保險新聞（六の二）定價金九錢東京市神田區北神保町八其社

▲山東通信（第一號）一月末紙に識集を以て開始されたる體裁よき通信にて日支關係の[illegible]

▲農業世界（十一の二）定價金廿錢東京市日本橋區本石町三丁目博文館

▲教育の實際（一〇の四）定價金廿錢東京市日本橋區本石町三丁目其社

▲東洋皮革新誌（一二の一三二）定價金十二錢大阪市東區内淡路町二の七七其社

▲東華評論（一の五）定價金十錢北京東城米倉十六號東華評論社

▲時代評論（三の五三）定價金十錢麴町區山手町七の三八時代評論社

◉家庭口腔衛生　齒科醫學博士　山中泰氏談

口腔衛生學會發行の『齒と生命』誌上に山中泰氏の家庭口腔衛生談の一節に曰く『齒磨さブラシは如何なる物を使用したらば宜しいかと申しますと現今市場に賣出されて居ります多くの齒磨中でもクラブ齒磨のみは理想的のものなる[illegible]に提供せんと努めて日夜研究に怠りのない技師の手によりて改善を加へられて居ますから此のクラブ齒磨を常に使用せられるのが最も安全で且つ必要なことであります決して粗製な齒磨を用ひたりして齒牙を磨耗したりすることがあつてはなりませぬ[illegible]方中には主として防腐消毒に効ある藥劑が調合されてあつて紛末の程度も極細末狀でありますから齒牙に損傷を與へることがなく使へば使ふ程齒の爲になる理想的完全な良い齒磨であります云々』と斯の如く齒學者間に最も厚き信用を博しつゝあるクラブ齒磨は近來各階級に於て非常なる需用の增加を來し各地盛況を示しつゝありといふ

●三銀の愛陶會　東京新橋際美術陶器舖三銀にて先頃より愛陶會を組織し會員は毎月一圓の會費を拂込めば三銀好の新意匠の陶器類を配布し尚其外に三圓の珍らしき景品を贈る由毎月何品が來るかと云ふ樂みありて不用の時は進物品になる美麗の箱入に仕上げてあると云ふ

商況

[illegible]

▲丸十筋續て買ふ

[illegible]

▲仁川在庫

[illegible]

ミツワ石鹸

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の强酸加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは素より當然のことなりとす、貴重なる皮膚毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

○ミツワ石鹸は

化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず

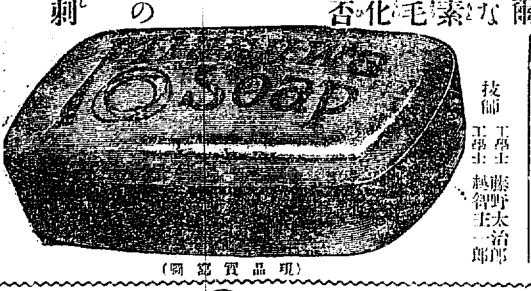
一、温雅の芳香を有す

一、細き泡沫を生じ適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹸なり

種類		
大形	家庭用	定價金貳拾錢
中形	携帶用	定價金拾參錢
小形	旅行用	定價金拾錢
極小形	旅館用	定價金五錢

技師　工學士　藤野太治郎　工學士　林督王一郎



(現品實寫圖)

肝油ドロップス　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目　振替東京七一〇番　丸見屋商店　電話長浪花　四四四四番　四四九〇番　八五〇番

光榮　宮內省御買上　名譽金牌　於衛生博覽會

東京で一番よく賣れる美人になる化粧料

白粉が思ひのまゝに付く ホーカー液をお使ひなさい

▼ホーカー液を常にお用ひの方は皮膚を白羽二重の如く、白くキメ細かにスベ〳〵と美しくし

▼白粉下又は白粉のトキ水にホーカー液をお用ひの節はドンナつきの惡しき白粉もノリ、ノビ自由にして性來色白き樣白粉の光彩を現し

▼外出水仕事の前後にお用ひあれば顔、手足のアレを防ぎヒヾ、シモヤケ等の患ひなし

▼其他紳士の顏料として剃刀後によく子供衆の皮膚を丈夫にする等家庭唯一の佳品なり

▼東京大阪三越呉服店を初め全國到る處の化粧品小間物店にてホーカー液は一番よく賣れます

本舖　堀越嘉太郎商店　東京神田柳原河岸(和泉橋)

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の白皙の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる　小壜二十錢　中壜四十錢

全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す　東京和泉橋際ゲンソ液本舖　松本藥店

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽行
淡路丸　二月十八日　正午出帆
相模丸　三月二日　正午出帆
高砂丸　三月十二日　正午出帆
仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
溫州丸　二月十九日　午後五時出帆
吉長丸　二月廿一日
平壤丸　二月廿五日
×天佑丸　二月廿四日　午後二時出帆
○天津丸　二月十八日
○大連行　城津丸　二月廿日　正午出帆
天佑丸　二月廿八日
○群山、釜山、濱濱行　潮州丸　二月廿八日　午後四時出帆
湖南丸　二月十七日
○大連直行　須磨丸　二月十八日　正午出帆
○チイサン丸　二月廿六日
○淸津、浦潮行(元山出帆)　天草丸　二月十八日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)　臺北丸　二月廿八日　午後二時出帆
新高丸　二月廿五日　午前十時出帆
北九丸　二月十七日
[illegible]
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二二〇番二五〇
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
秀吉丸　二月廿六日　午後四時出帆
大有丸　二月十七日　午後四時出帆
神代丸　二月廿日　午後四時出帆
鼓龍丸　二月廿四日　午後四時出帆
君が代丸
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

金剛丸　三月一日　釜山發
京畿丸　二月廿二日
黄海丸　二月廿六日
成鏡丸
隱城丸　二月廿三日　元山發
昌平丸　二月廿一日
鎮成丸　二月十七日　元山發
永興丸　毎月廿八回　元山發
盛德丸　二月廿一日　釜山發
江陵丸・義陽丸　毎日　釜山(浦項)發
三浦丸　二月二十日　釜山發
海州丸・錦豐丸　毎日　釜山發
順天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　二月十七日　木浦發
公州丸　二月廿一日　木浦發
公州丸　二月廿二日　木浦發
金州丸　二月十九日　仁川發
江原丸　二月廿四日　仁川發
麗水丸　二月十七日　仁川發
晉州丸　二月廿二日　仁川發
錦江丸・南陽丸　毎日午前　仁川發
平安丸　二月十七日　群山發
京城代理店　松原運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　二月　日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　立神丸　二月十七日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　二月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　二月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三泰平丸　二月十九日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三泰平丸　二月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
大池回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　共同丸　二月十四日後二時入港　二月十六日前九時出帆
第一成鶴丸　城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)　月　日後九時入港　月　日出帆
第三[illegible]丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆)　月　日前入時　月　日出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目(電話一〇八番)　仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店